令和元年度
中学生・高校生意識調査結果報告書

2019

令和元年 8 月

目　　次

Ⅰ　調査概要 1
1　調査目的 1
2　調査方法 1
3　調査票の配布・回収状況 1
4　グラフ中の表記 1

Ⅱ　調査結果 3
1　回答者の属性について 3
（１）性別 3
（２）中学生・高校生別 3
（３）居住地区 3
（４）居住年数（市内在住者のみ） 4
（５）将来の渋川市への居住意向 5
2　市の現状の評価について 7
問１　市の取組の満足度・重要度 7
3　市民会館について 21
問２　行ってみたいと思う市民会館事業 21
問３　市民会館の文化教養事業企画への意見 22
4　マイナンバーカードについて 23
問４　マイナンバーカードの所有状況 23
問５　持っていない理由 24
問６　利用してみたいサービス 25
5　結婚・子育てについて 26
問７　結婚希望年齢 26
問８　希望子供数 27
6　成年後見制度について 28
問９　成年後見制度の認知度 28
問１０　利用意向 29
問１１　判断力が低下して不安を感じた時の相談先・相手 30

7　読書について **31**
問１２　紙の本の読書冊数 31
問１３　電子書籍の読書冊数 33
問１４　図書館の利用頻度 34
4　市政について **35**
問１５　住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと 35
資料 **38**
中学生・高校生別満足度・重要度（加重平均値） 38
調査票 40

Ⅰ　調査概要

1　調査目的

この調査は、中学生及び高校生の本市の行政に対する評価や意向等を統計的に把握し、まちづくりの指針となる総合計画の進行管理や市政運営の基礎資料とするため実施しました。

2　調査方法

① 調査地域　　渋川市内
② 調査対象　　市内の中学校に通う第 2 学年の生徒
　　市内の高等学校に通う第 2 学年の生徒
　　渋川特別支援学校高等部の生徒
③ 調査方法　　アンケート用紙による自記式アンケート
④ 調査時期　　令和元（2019）年 5 月 14 日～6 月 4 日
⑤ 配布回収方法　各学校において直接配布、直接回収

3　調査票の配布・回収状況

① 配布数　　1,361 通（中学校 562 通・高等学校 799 通）
② 回収数　　1,282 通（中学校 542 通・高等学校 740 通）
③ 回収率　　94.2%　（中学校 96.4%・高等学校 92.6%）

4　グラフ中の表記

① 各設問に対する回答者数を n で表記しています。
② 数値は小数第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100.0%にならない場合があります。
③ 市の取組の満足度・重要度（問 1）の評価については、以下の算出方法で加重平均値を求めて評価点としています。評価点は 2 点から－2 点の間に分布し、中間点の 0.0 点を境として、2 点に近いほど評価が高く、－2 点に近いほど評価が低いことを示します。

	満足度選択肢	重要度選択肢	加重値
ア	満足	重要	2
イ	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば重要	1
ウ	どちらとも言えない	どちらとも言えない	0
エ	どちらかと言えば不満	どちらかと言えば重要ではない	－1
オ	不満	重要ではない	－2

$$\text{加重平均値} = \frac{\text{ア}\times 2 + \text{イ}\times 1 + \text{ウ}\times 0 + \text{エ}\times(-1) + \text{オ}\times(-2)}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

④ 本文中の「H30 調査」「H29 調査」「H28 調査」はそれぞれ以下を示し、グラフ中では「平成 30 年度」「平成 29 年度」「平成 28 年度」と示します。また、一部の設問について、以下の別調査における類似設問の結果を「【参考　H27 参考調査】」としてページ下部に表示します。

H30 調査	中学生・高校生意識調査 平成 30（2018）年 5～6 月実施 配布 1,458 通・回収 1,348 通（回収率 92.5%） 調査対象は本調査と同様（市内中学校・高等学校に通う第 2 学年の生徒）
H29 調査	中学生・高校生意識調査 平成 29（2017）年 5～6 月実施 配布 1,432 通・回収 1,386 通（回収率 96.8%） 調査対象は本調査と同様（市内中学校・高等学校に通う第 2 学年の生徒）
H28 調査	中学生・高校生意識調査 平成 28（2016）年 6 月実施 配布 1,354 通・回収 1,304 通（回収率 96.3%） 調査対象は本調査と同様（市内中学校・高等学校に通う第 2 学年の生徒）

【参考】

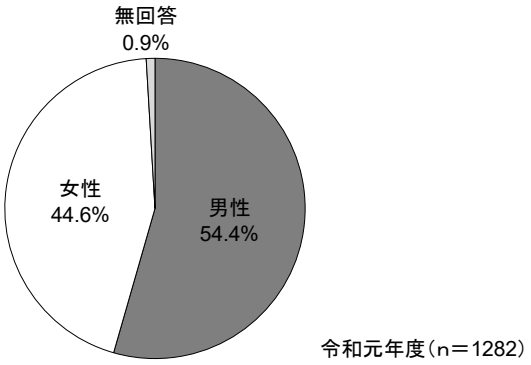
H27 参考調査	進路希望・結婚等に関する意識調査 平成 27（2015）年 7 月実施 配布 746 通・回収 238（回収率 31.9%） 調査対象は住民基本台帳登録者から調査実施時に高校 3 年生の年齢に該当するすべての市民

Ⅱ　調査結果

1　回答者の属性について

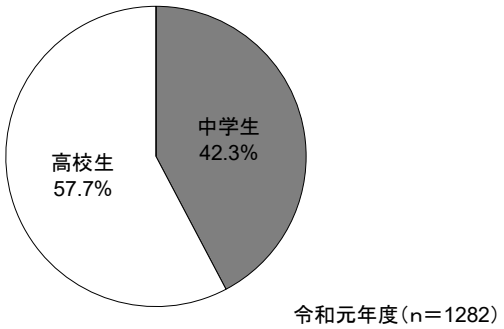
（1）性別

男性（54.4%）が 5 割以上、女性（44.6%）が 4 割以上となっています。



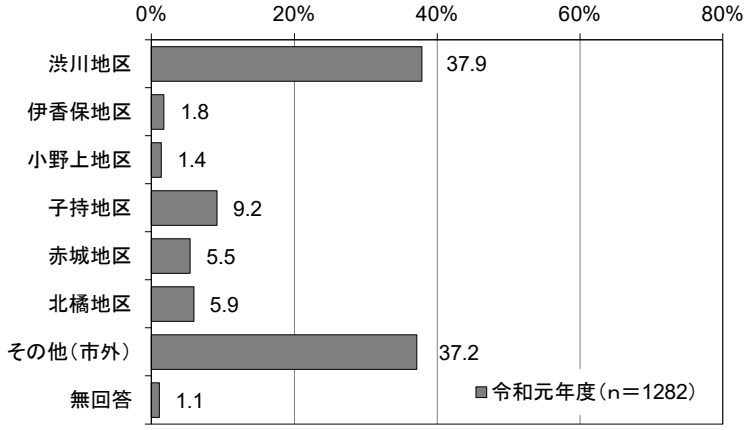
（2）中学生・高校生別

中学生（42.3%）が 4 割以上、高校生（57.7%）が約 6 割となっています。



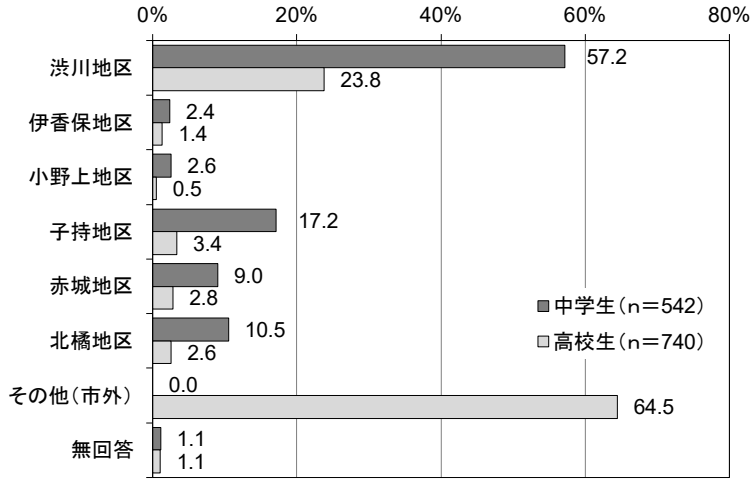
（3）居住地区

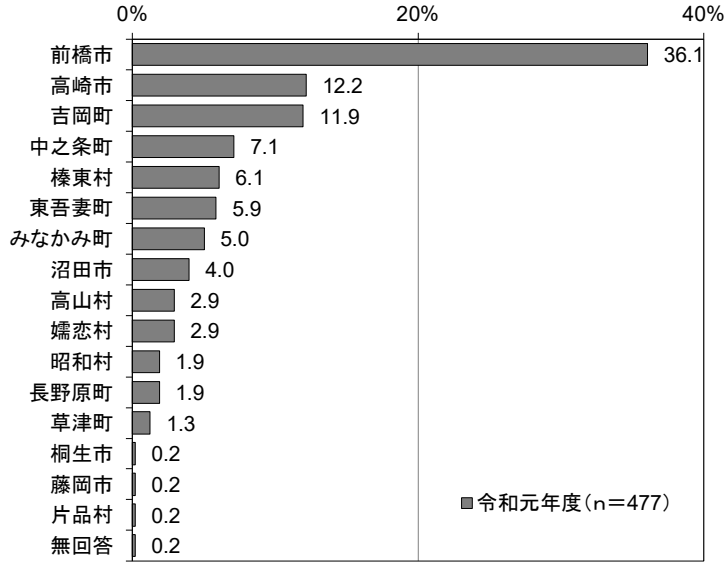
渋川市内では、渋川地区（37.9%）が約 4 割で最も高く、次いでその他（市外）（37.2%）が約 4 割、子持地区（9.2%）が約 1 割となっています。



中学生は渋川地区（57.2%）が約 6 割、高校生はその他（市外）（64.5%）が 6 割以上でそれぞれ最も高くなっています。

高校生で特に高いその他（市外）の内訳は、前橋市（36.1%）が 3 割以上で突出して高く、次いで高崎市（12.2%）、吉岡町（11.9%）がそれぞれ 1 割以上となっています。

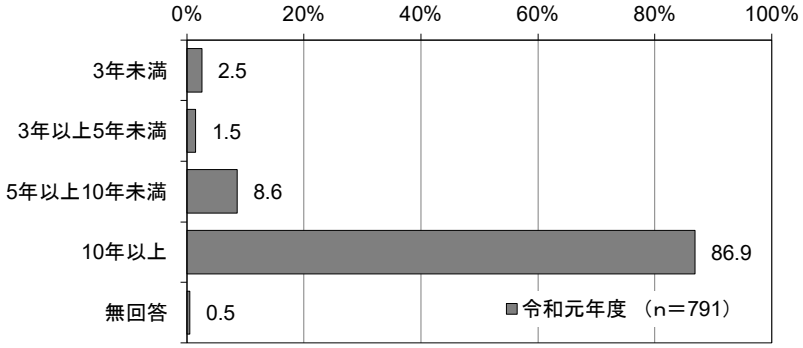




※中学生の「前橋市」（2 件）を含む

（4）居住年数（市内在住者のみ）

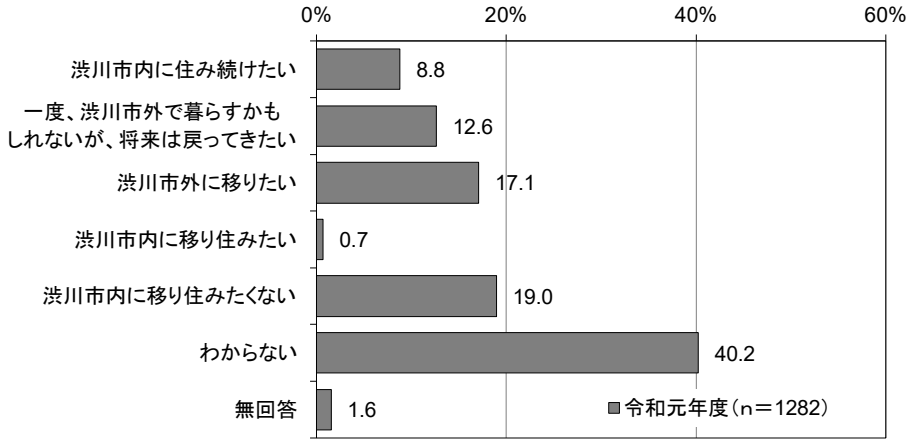
10 年以上（86.9%）が約 9 割で最も高くなっています。

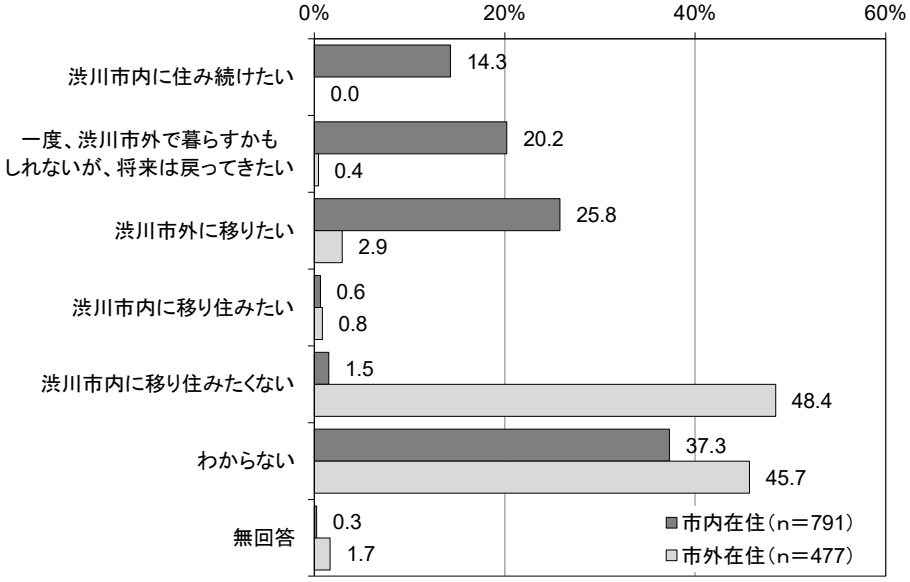


（5）将来の渋川市への居住意向

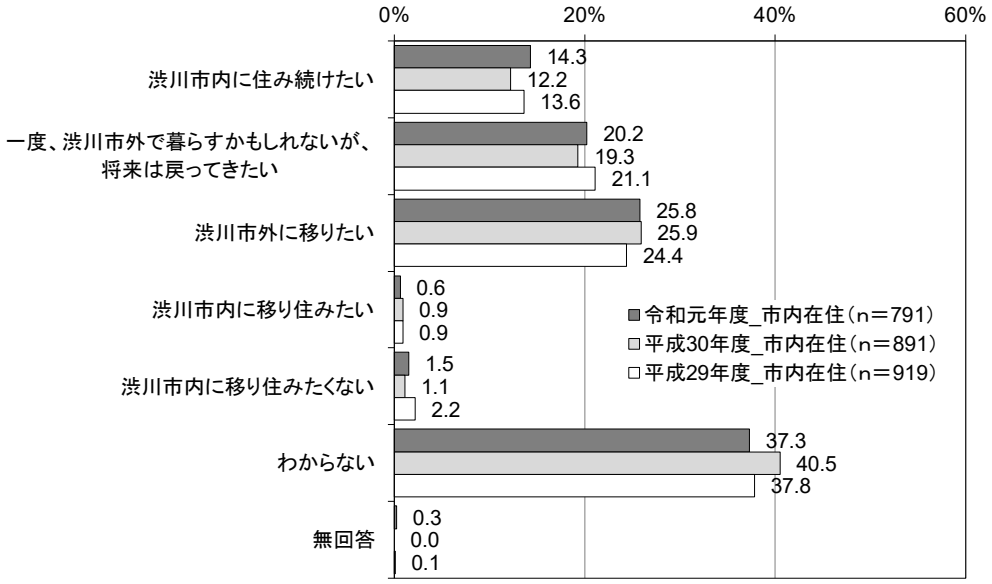
「わからない」（40.2%）が 4 割以上で最も高くなっています。

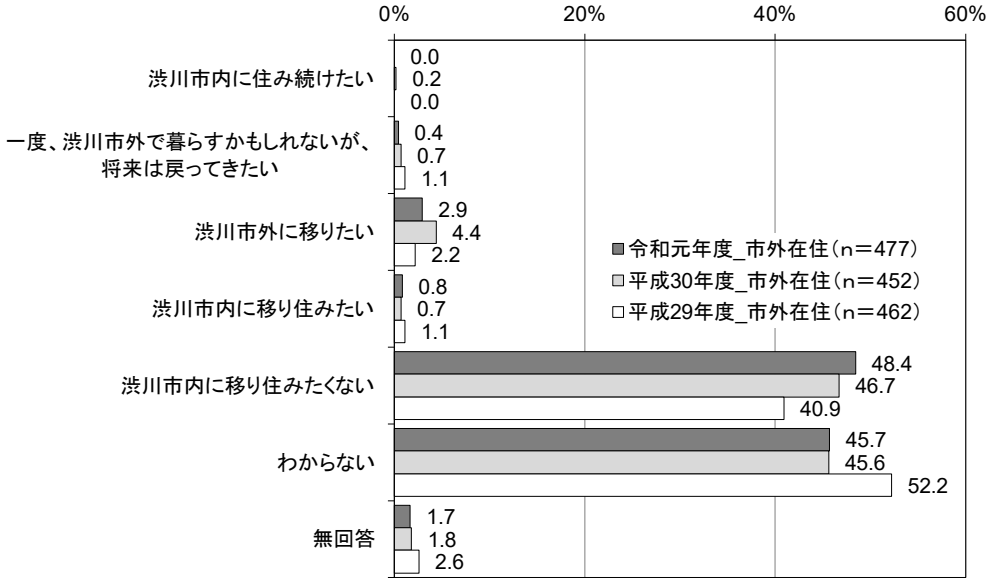
市内在住者と市外在住者を見ると、市内在住者は「わからない」（37.3%）が約 4 割で最も高く、次いで「渋川市外に移りたい」（25.8%）、「一度、渋川市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい」（20.2%）の 2 項目が 2 割以上となっています。市外在住者は「渋川市内に移り住みたくない」（48.4%）が約 5 割で最も高く、次いで「わからない」（45.7%）も同程度に高くなっています。





市内在住者、市外在住者それぞれについて前回までの調査結果と比較すると、市内在住者では大きな変化は見られません。市外在住者でも大きな変化は見られませんが、「渋川市内に移り住みたくない」が高くなる傾向がうかがえます。





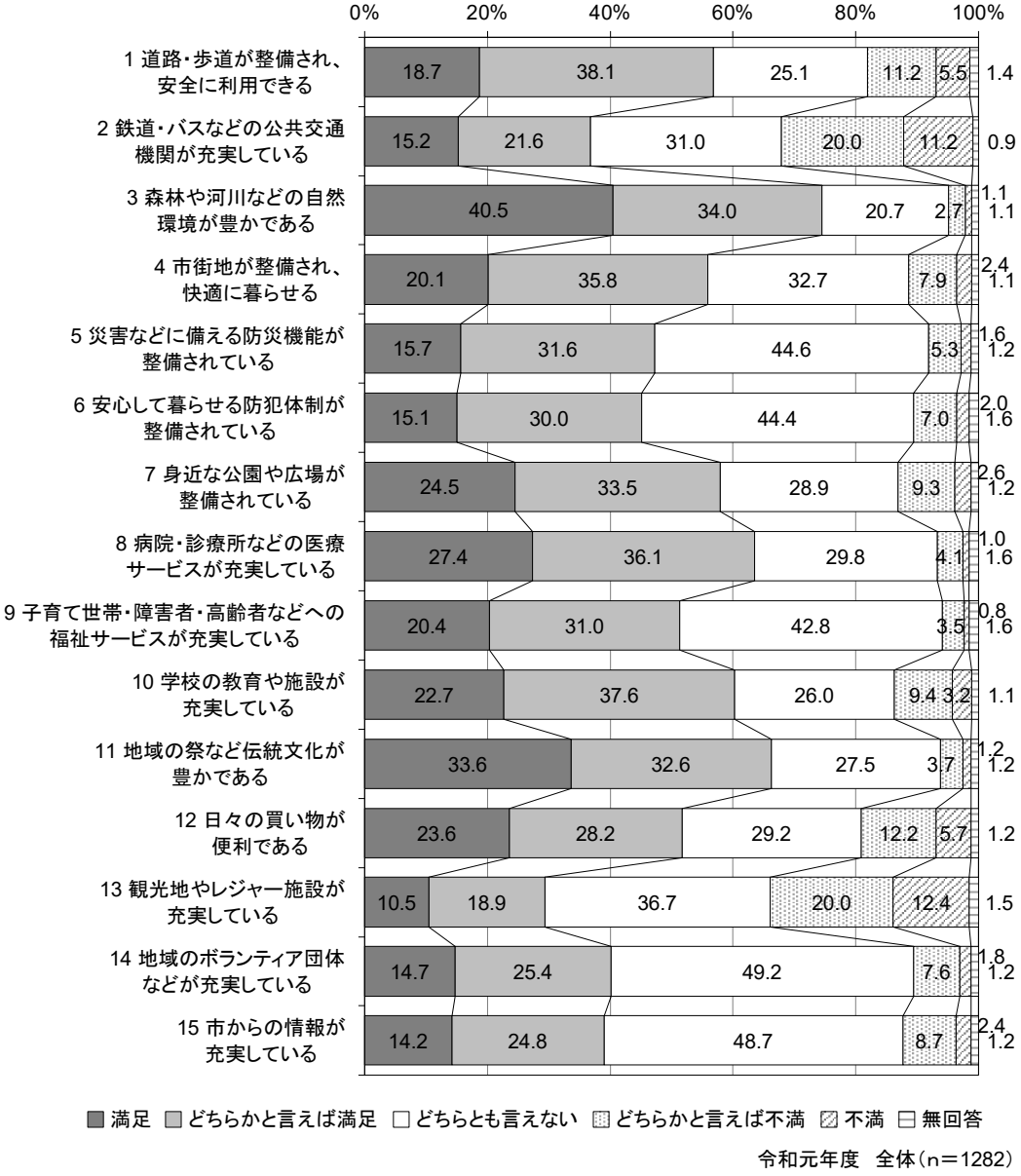
２　市の現状の評価について

問１　市の取組の満足度・重要度

あなたは、身近な生活環境について、どのように感じていますか。(各項目について、「満足度」欄及び「重要度」欄の５段階評価の中から、１つずつ選択)

（１）満足度

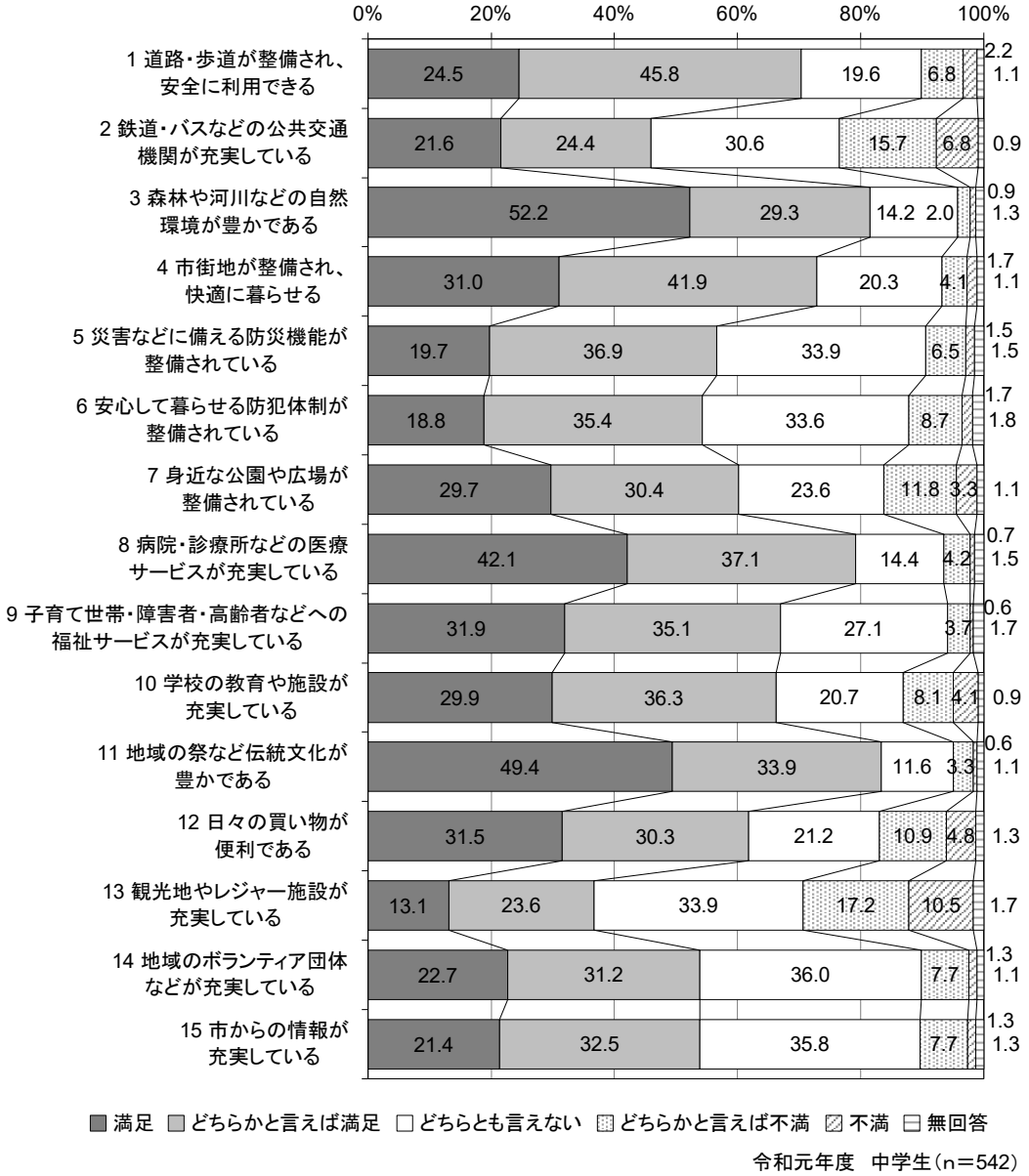
「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「3　森林や河川などの自然環境が豊かである」（74.5%）が７割以上で最も高く、次いで「11　地域の祭など伝統文化が豊かである」（66.2%）、「8　病院・診療所などの医療サービスが充実している」（63.5%）、「10　学校の教育や施設が充実している」（60.3%）が６割以上となっています。



令和元年度　全体（n＝1282）

【中学生・満足度】

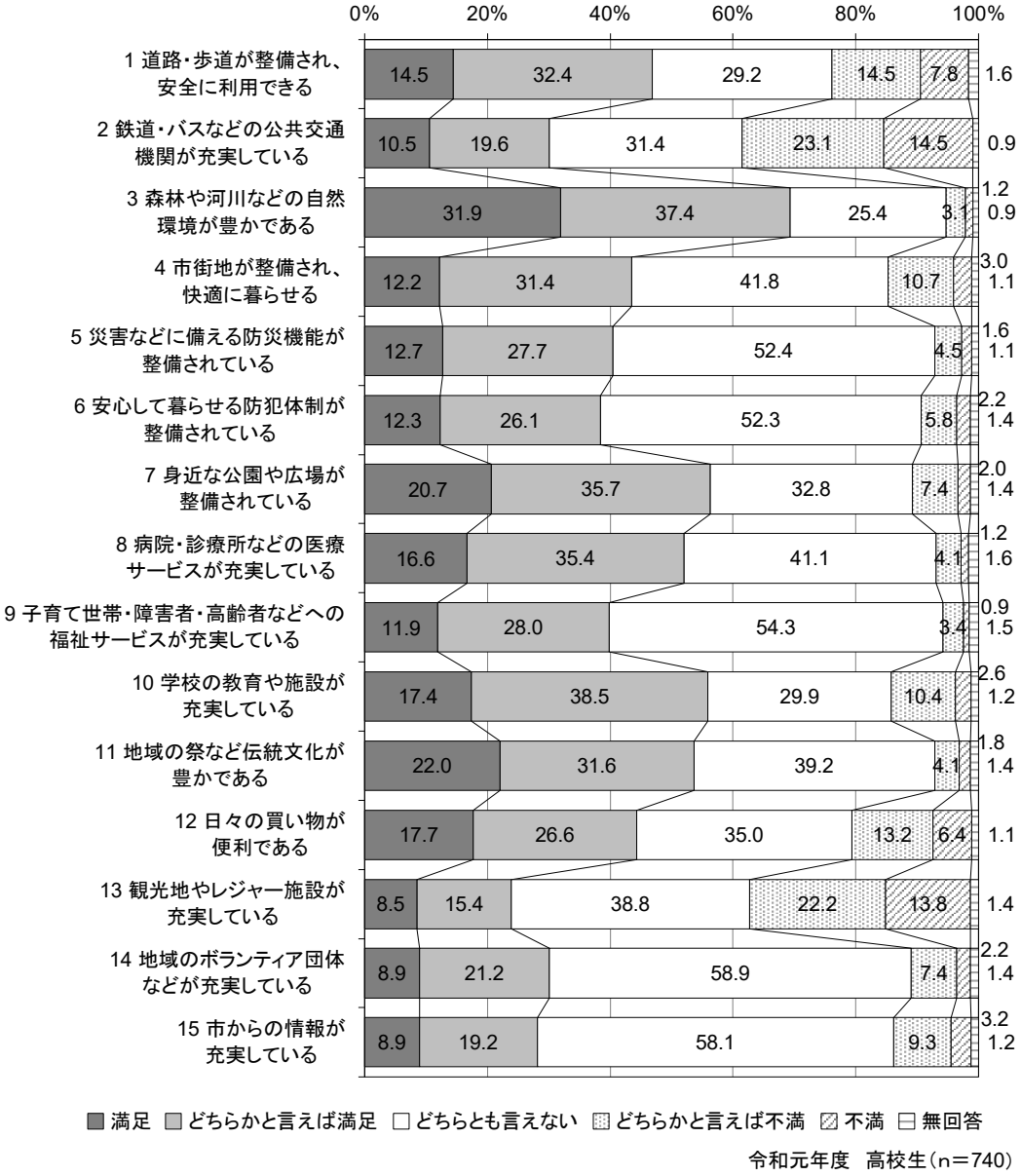
「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた『満足』を見ると、「11　地域の祭など伝統文化が豊かである」(83.3%)、「3　森林や河川などの自然環境が豊かである」(81.5%) が 8 割以上で高く、次いで「8　病院・診療所などの医療サービスが充実している」(79.2%) が約 8 割となっています。



令和元年度　中学生（n＝542）

【高校生・満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた『満足』を見ると、全体と同様に「3　森林や河川などの自然環境が豊かである」（69.3%）が約７割で最も高くなっています。

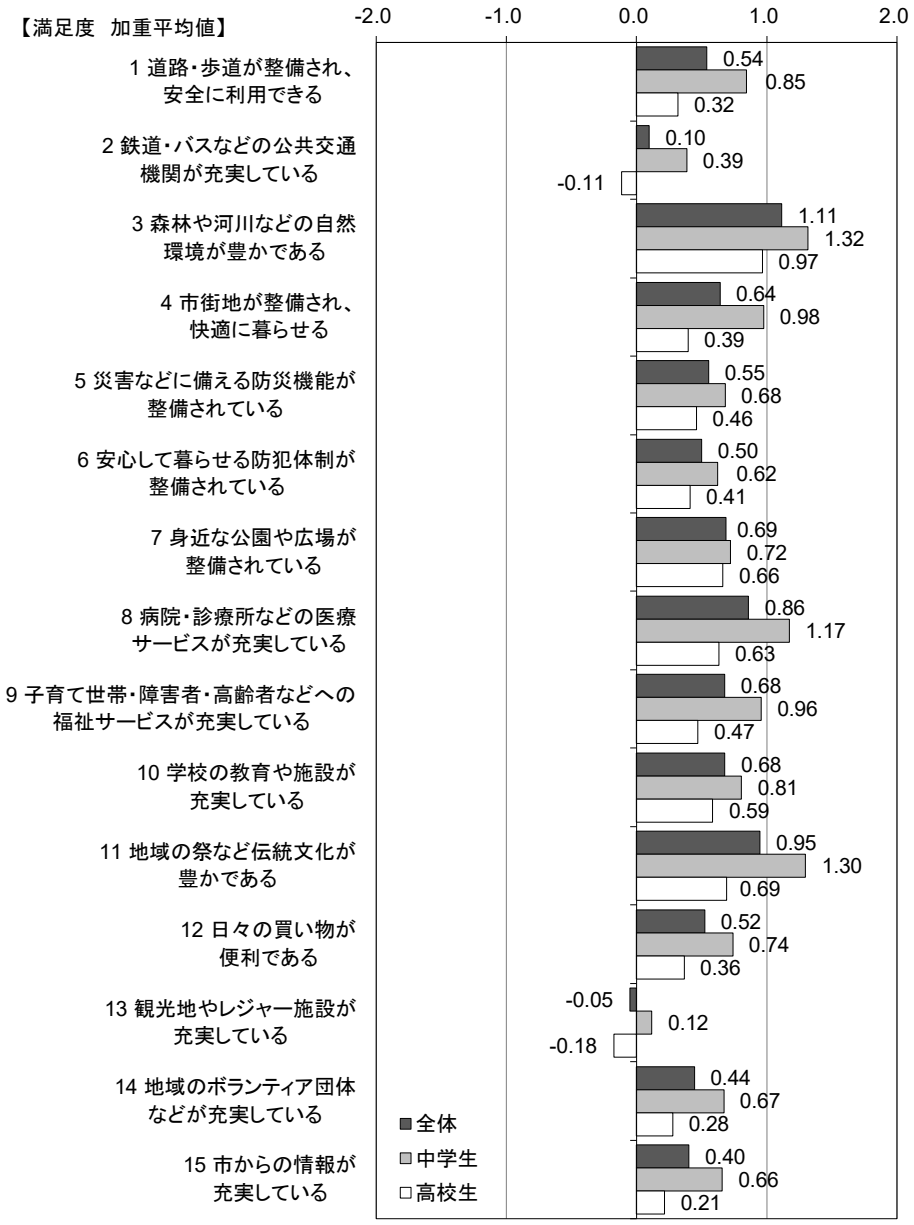


令和元年度　高校生（n＝740）

【加重平均値・満足度】

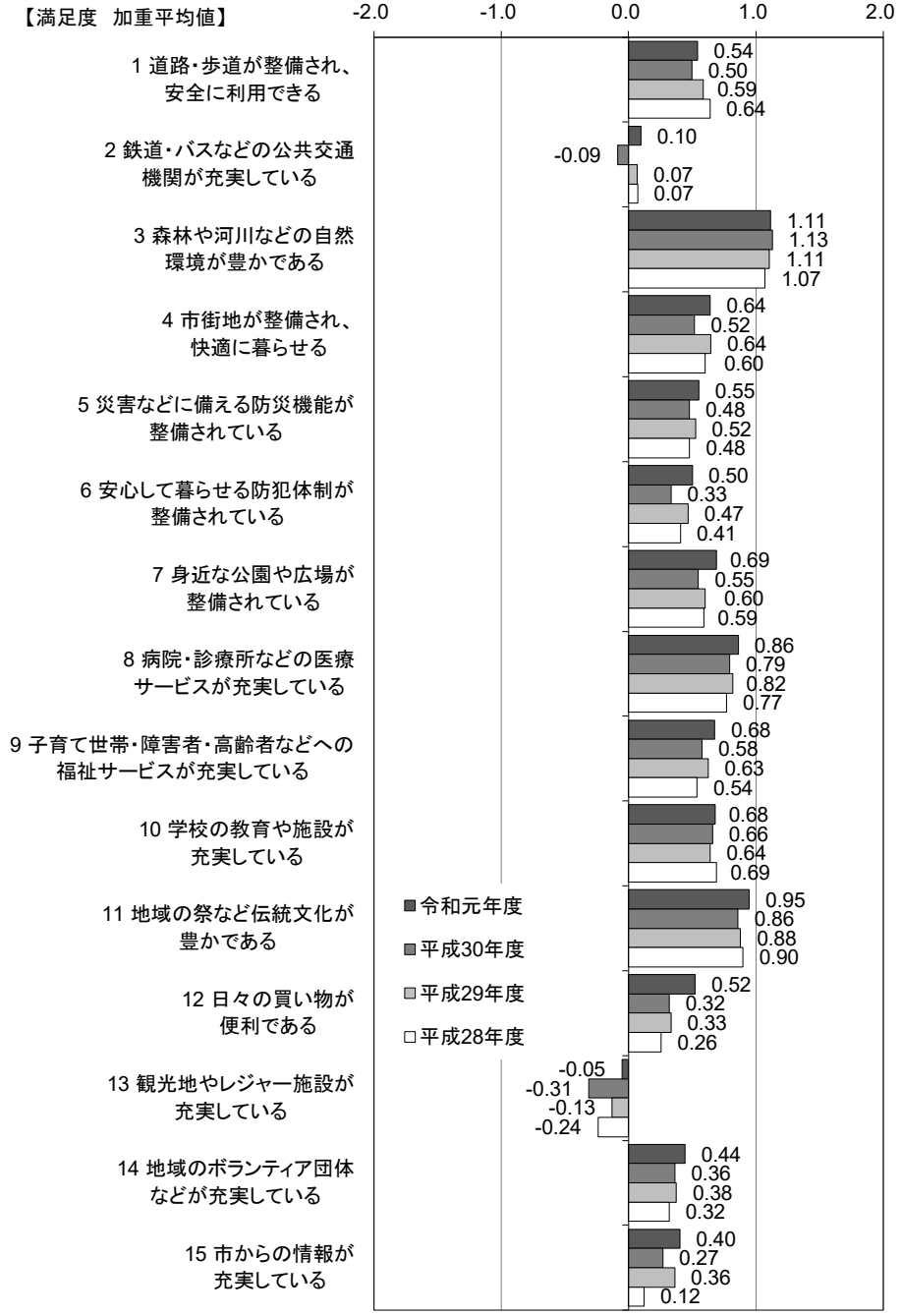
加重平均値を見ると、全体、中学生、高校生のいずれもほとんどの項目がプラス値となっており、「3　森林や河川などの自然環境が豊かである」（それぞれ 1.11 ポイント、1.32 ポイント、0.96 ポイント）が最も高くなっています。

一方、全体、中学生、高校生のいずれも「13　観光地やレジャー施設が充実している」（それぞれ－0.05 ポイント、0.12 ポイント、―0.18 ポイント）が最も低く、全体、高校生ではマイナス値となっています。また、高校生は「2　鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」（－0.11 ポイント）もマイナス値となっています。



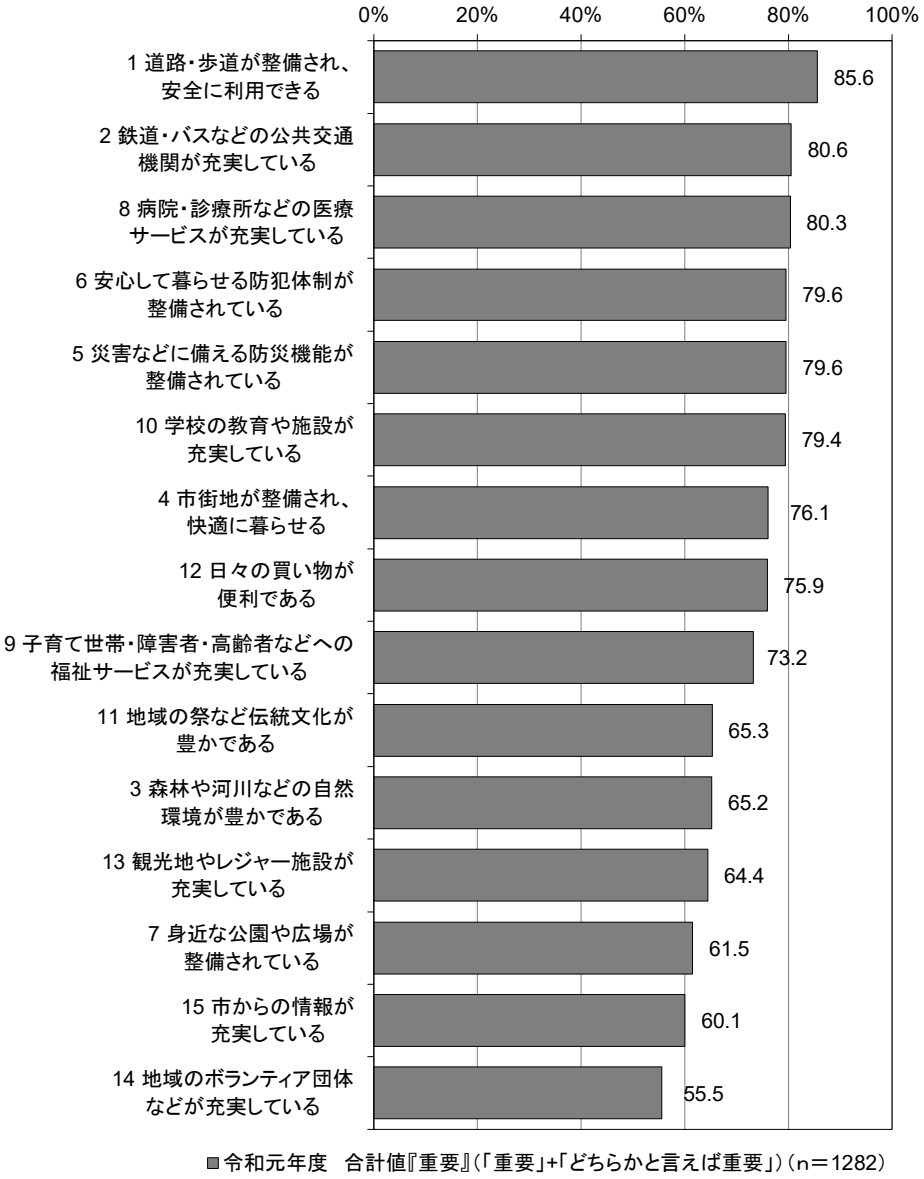
【加重平均値・全体・満足度の経年変化】

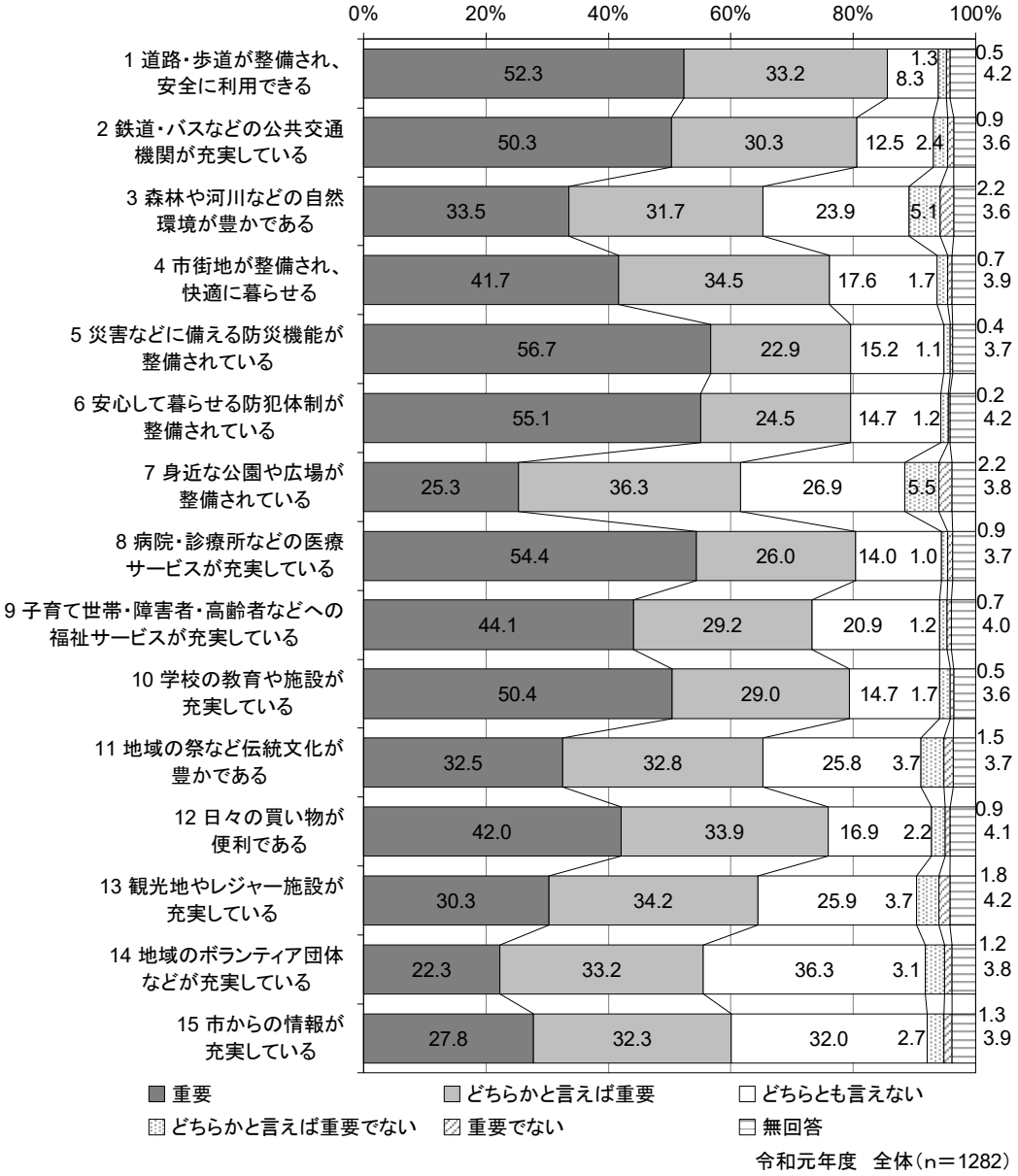
全体について、加重平均値を前回までの調査結果と比較すると、ほとんどの項目が前回までと同程度で推移しています。その中で、「12　日々の買物が便利である」（0.52 ポイント）は H30 年度以前より高くなっています。また、「13　観光地やレジャー施設が充実している」はマイナス値ですが、H30 年度以前より満足度が高くなっています。「2　鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」（0.10 ポイント）は、H30 年度（－0.09 ポイント）ではマイナス値となっていましたが、今回はプラス値となっています。



（2）重要度

「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「1　道路・歩道が整備され、安全に利用できる」（85.6%）が 8 割以上で最も高く、次いで高い「2　鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」（80.6%）、「8　病院・診療所などの医療サービスが充実している」（80.3%）の 2 項目も 8 割以上となっています。

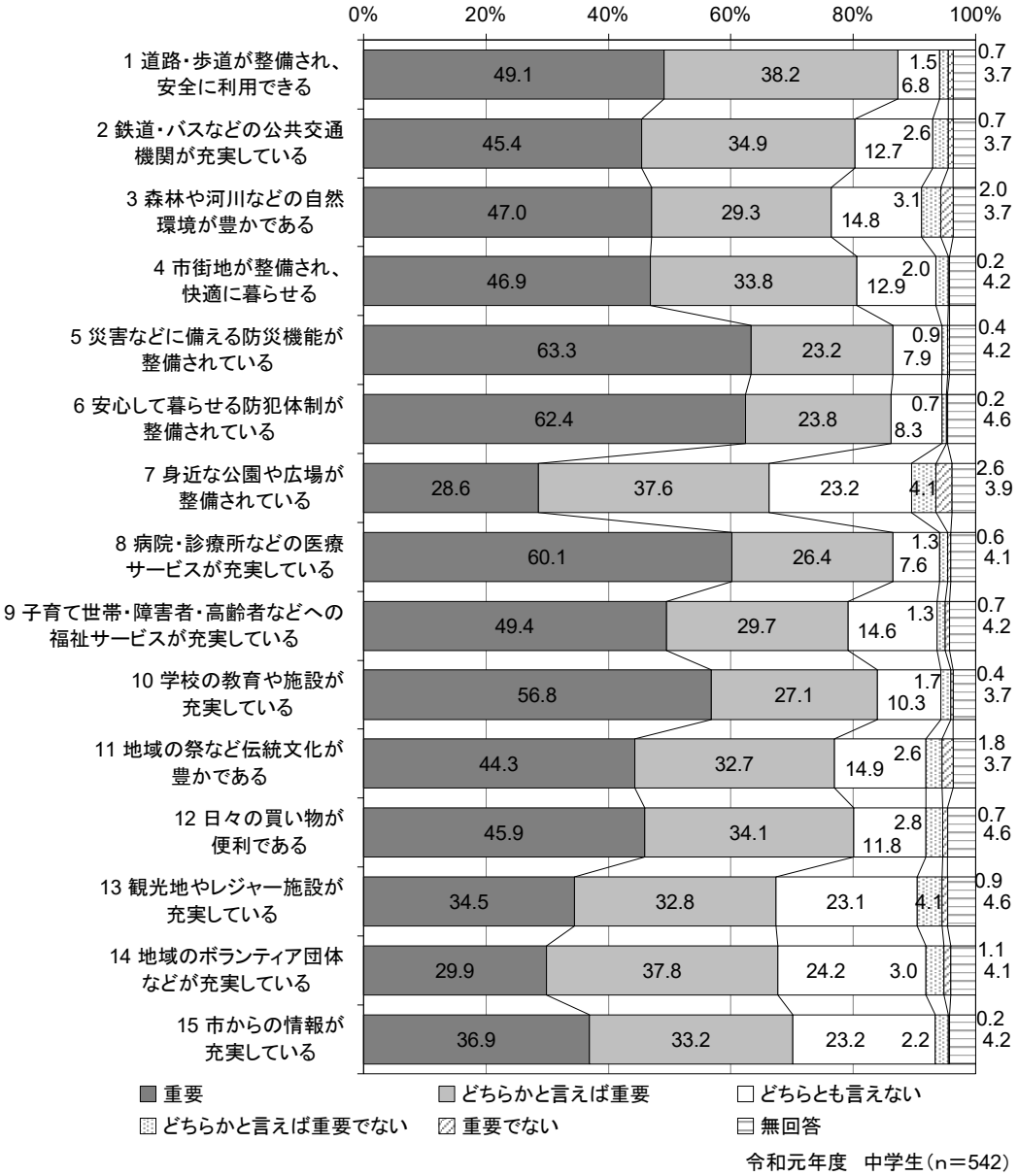




令和元年度　全体（n＝1282）

【中学生・重要度】

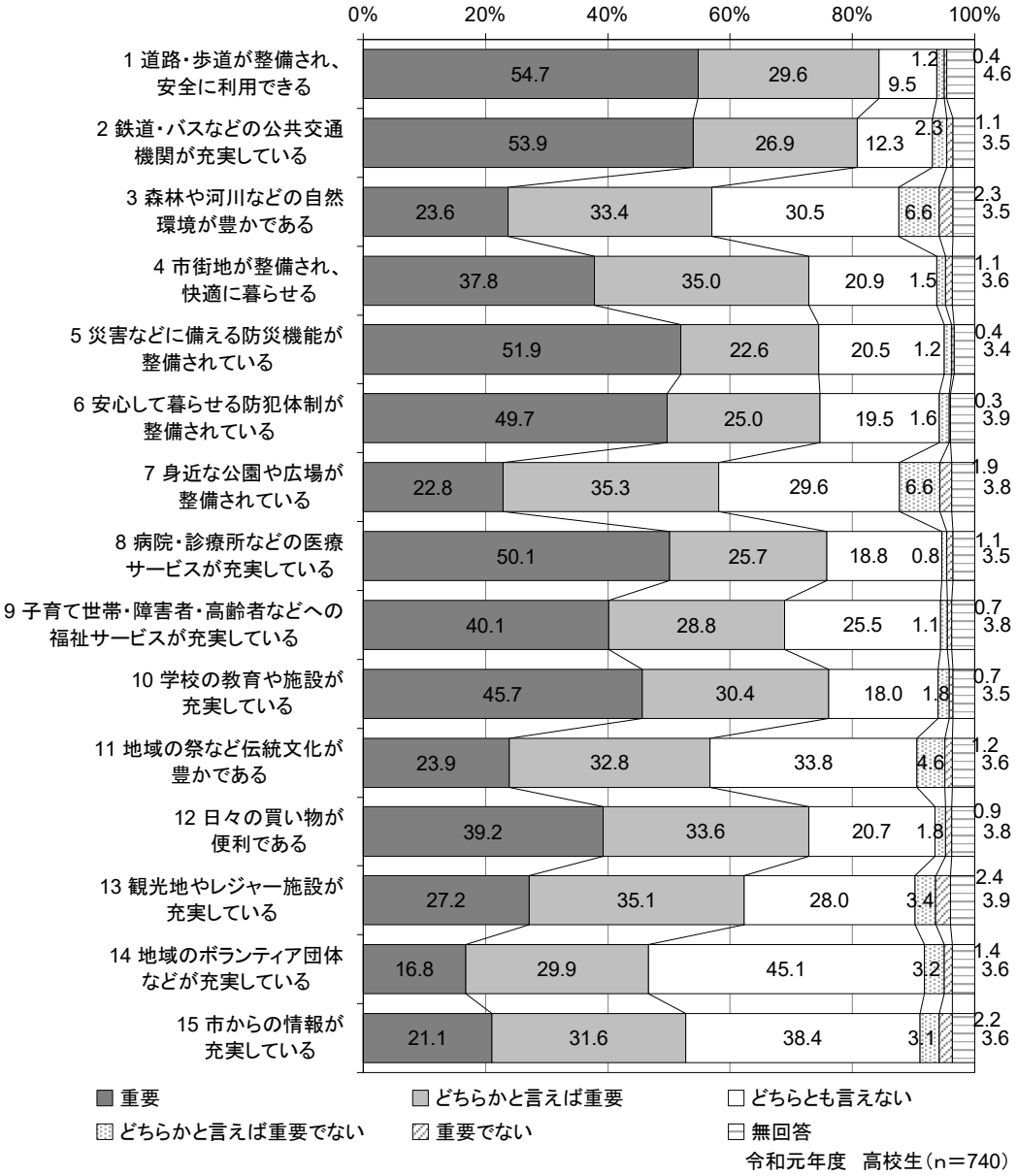
「重要」と「どちらかと言えば重要」を合わせた『重要』を見ると、「1　道路・歩道が整備され、安全に利用できる」(87.3%)、「5　災害などに備える防災機能が整備されている」「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」(86.5%で同値)、「6　安心して暮らせる防犯体制が整備されている」(86.2%) が同程度に高く、「10　学校の教育や施設が充実している」(83.9%)、「4　市街地が整備され、快適に暮らせる」(80.7%)、「2　鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」(80.3%)、「12　日々の買い物が便利である」(80.0%) の 8 項目がいずれも 8 割以上となっています。



令和元年度　中学生（n＝542）

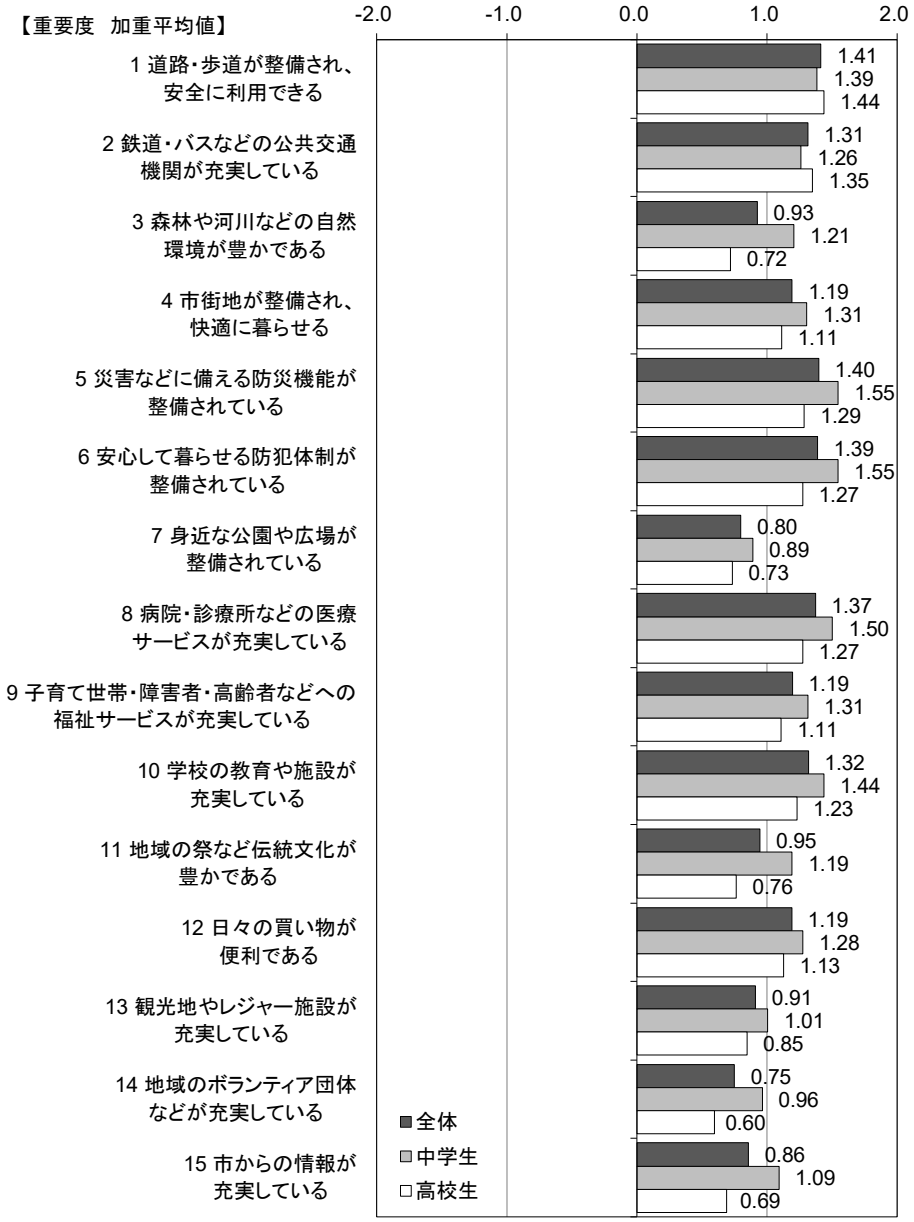
【高校生・重要度】

「重要」と「どちらかと言えば重要」を合わせた『重要』を見ると、「1　道路・歩道が整備され、安全に利用できる」（84.3%）、「2　鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」（80.8%）の 2 項目が 8 割以上で高くなっています。



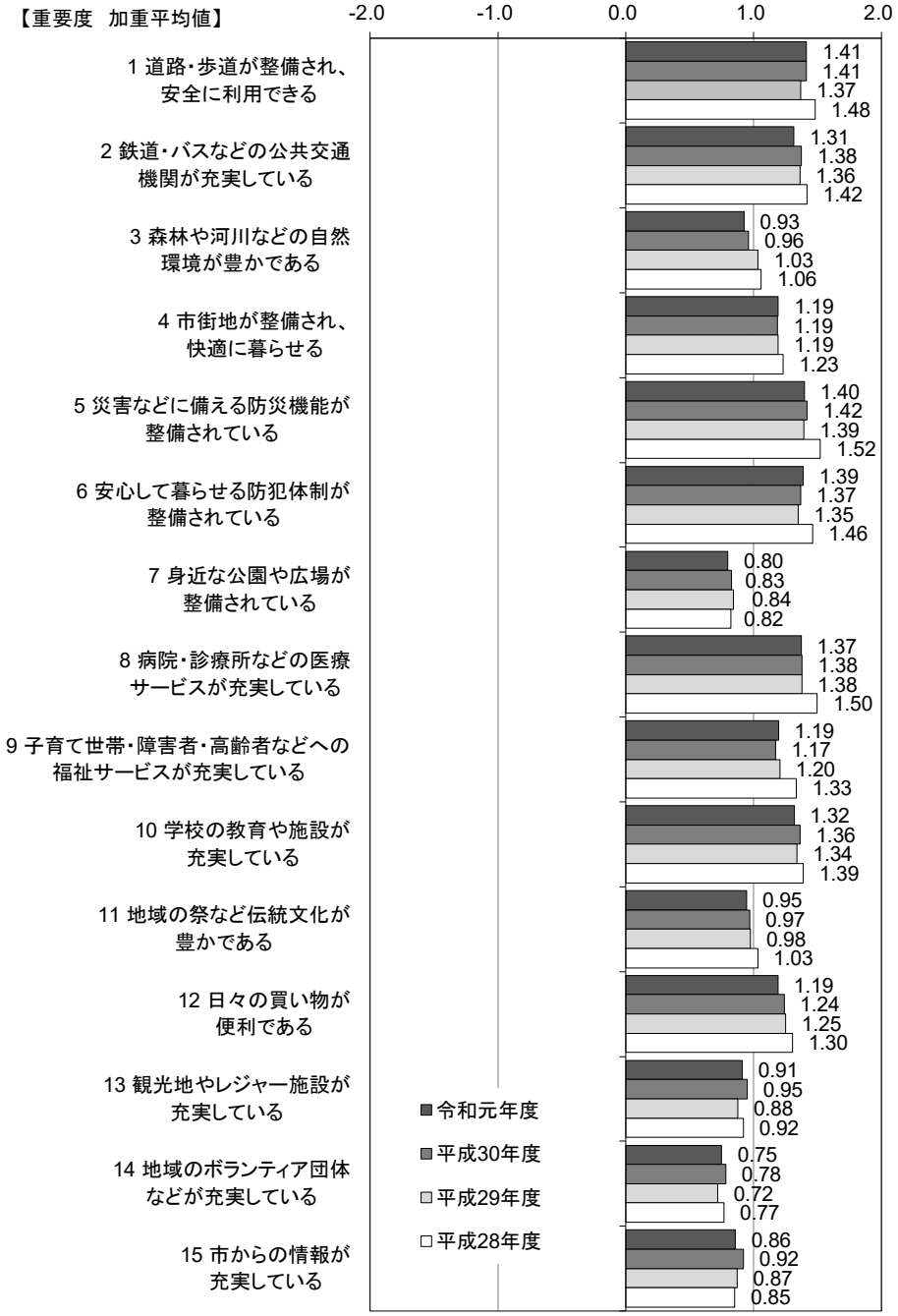
【加重平均値・重要度】

加重平均値を見ると、全体、中学生、高校生のいずれもすべての項目がプラス値となっています。全体は「1　道路・歩道が整備され、安全に利用できる」（1.41 ポイント）、「5　災害などに備える防災機能が整備されている」（1.40 ポイント）が同程度に高くなっています。中学生は「5　災害などに備える防災機能が整備されている」「6　安心して暮らせる防犯体制が整備されている」（1.55 ポイントで同値）が高くなっています。高校生は「1　道路・歩道が整備され、安全に利用できる」（1.44 ポイント）が最も高くなっています。



【加重平均値・全体・重要度の経年変化】

全体について、加重平均値を前回までの調査結果と比較すると、ほとんどの項目が前回までと同程度で推移しています。その中で、「3　森林や河川などの自然環境が豊かである」(0.93 ポイント)、「11　地域の祭など伝統文化が豊かである」(0.95 ポイント)、「12　日々の買物が便利である」(1.19 ポイント）は若干低くなる傾向がうかがえます。



（３）１５項目の満足度と重要度の関係・経年変化

15 項目それぞれの満足度と重要度の加重平均値をマトリックスグラフに示し、満足度及び重要度の全項目平均値を基準として、相対的な位置について 4 つの象限で見てみると、おおむね以下に分類できます。

Ａブロック　重点的な対応・早期の見直しが求められている項目

満足度が低い一方、重要度が高く、施策の緊急性が高いと考えられる分野です。低い満足度の要因の分析と、それに基づく施策の早急な見直しが求められています。

Ｂブロック　状況に応じた対応・長期の見直しが求められている項目

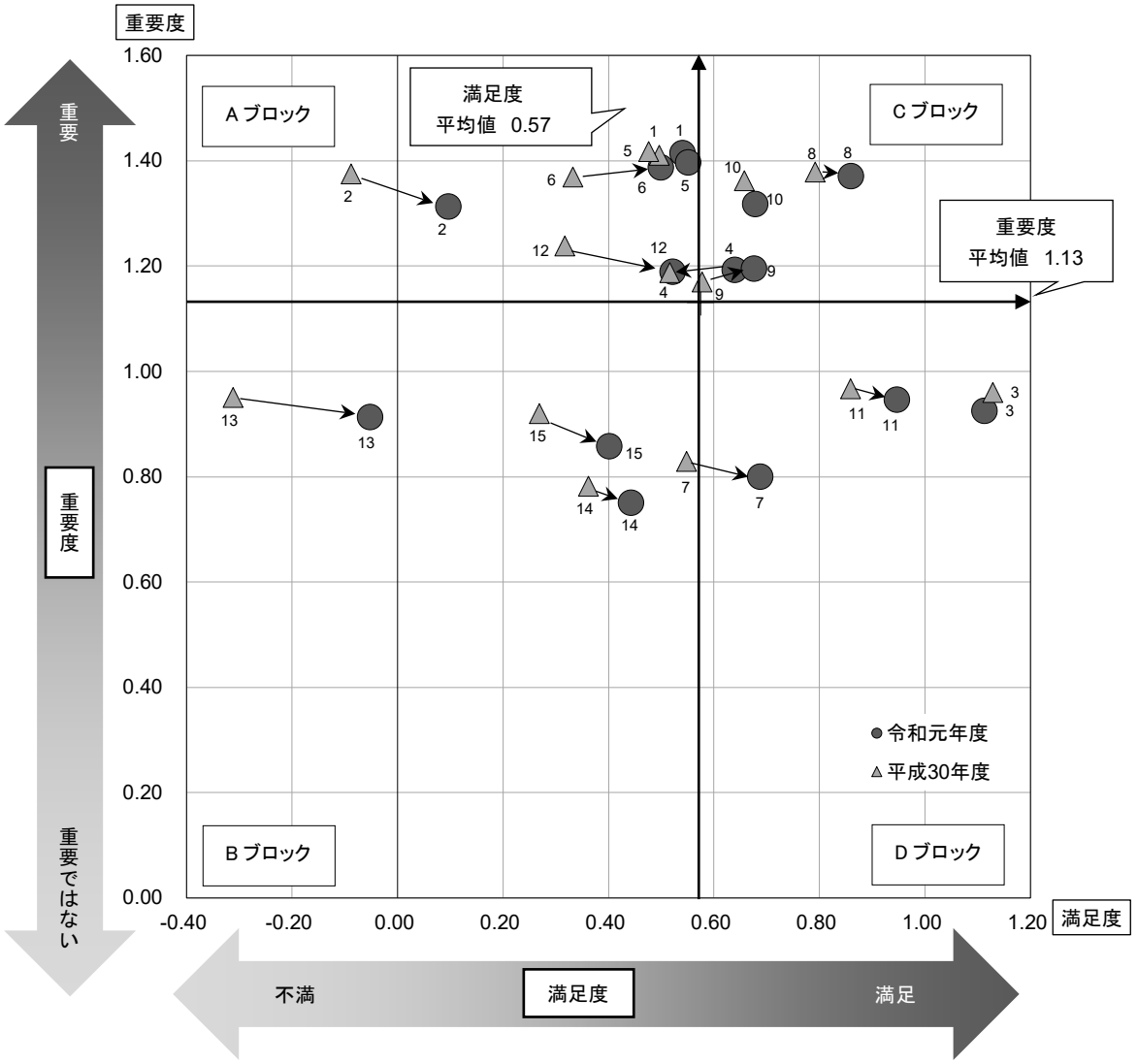
重要度・満足度ともに低く、市民に施策の必要性や具体的な方向性があまり認識されていないと考えられる分野です。施策の必要性と市としての方向性、位置づけについて、市民への説明や情報提供に努めることが必要と考えられます。

Ｃブロック　安定的な維持・拡充が求められている項目

満足度・重要度ともに高く、施策の方向性と成果が市民の需要と合致していると考えられる分野です。現状の安定的な維持とともに、さらに高いレベルでの拡充が求められていると考えられます。

Ｄブロック　現状維持が求められている項目

満足度が高い一方、重要度が低く、施策の成果が浸透してきており、現状の水準の維持が求められていると考えられる分野です。一方、新たな視点での施策推進や拡充を進める必要がある場合には、その必要性が認識されにくい分野であると考えられ、必要性の周知や、認識の共有を図ることが必要と考えられます。



1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる	9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している
2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している	10 学校の教育や施設が充実している
3 森林や河川などの自然環境が豊かである	11 地域の祭など伝統文化が豊かである
4 市街地が整備され、快適に暮らせる	12 日々の買い物が便利である
5 災害などに備える防災機能が整備されている	13 観光地やレジャー施設が充実している
6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている	14 地域のボランティア団体などが充実している
7 身近な公園や広場が整備されている	15 市からの情報が充実している
8 病院・診療所などの医療サービスが充実している	

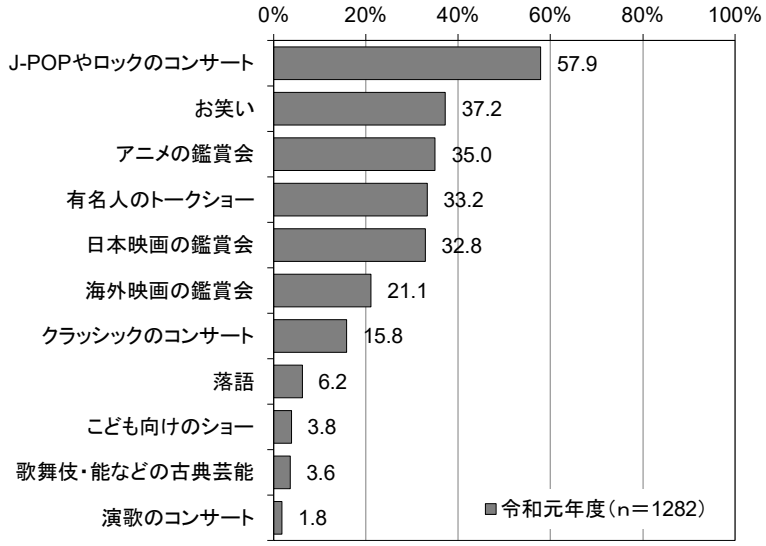
３　市民会館について

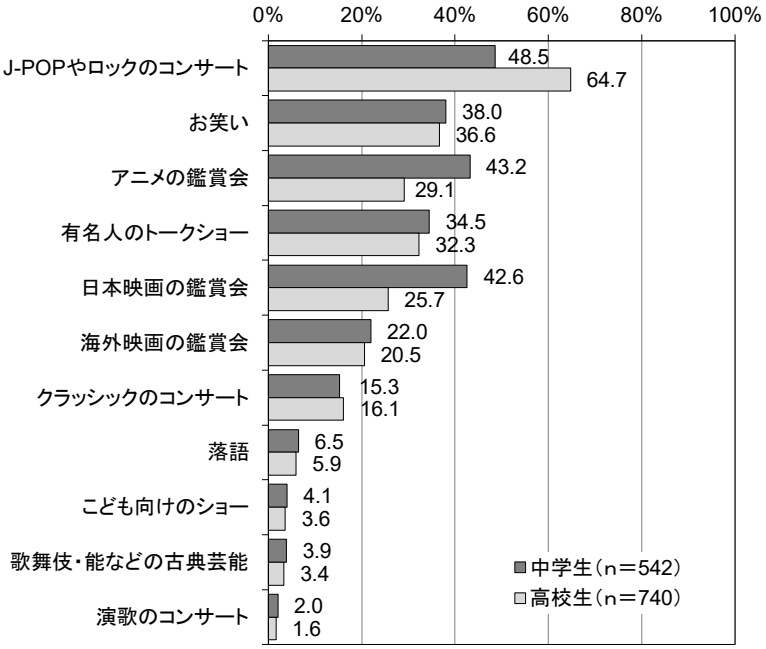
問２　行ってみたいと思う市民会館事業

市民会館では様々な文化教養事業を企画しています。あなたが、行ってみたいと思う市民会館の事業は何ですか。（３つまで選択）

「J-POP やロックのコンサート」（57.9%）が約 6 割で特に高くなっています。次いで「お笑い」（37.2%）が約 4 割、「アニメの鑑賞会」「有名人のトークショー」「日本映画の鑑賞会」（それぞれ 35.0%、33.2%、32.8%）が 3 割以上となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生のいずれも「J-POP やロックのコンサート」（それぞれ 48.5%、64.7%）が最も高く、中学生は約 5 割、高校生は 6 割以上で、高校生は特に高くなっています。中学生は、次いで高い「アニメの鑑賞会」（43.2%）、「日本映画の鑑賞会」（42.6%）が 4 割以上となっています。





問３　市民会館の文化教養事業企画への意見

市民会館の文化教養事業の企画について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

119 人から記述をいただきました。主なものを以下に示します。なお、原則として原文のままとしています。

・有志のダンス発表会。
・音楽系のイベントを行ってほしい。
・高校交流。
・E スポーツ大会。
・幅広い部活の発表がしたい。
・手芸などの物づくりを教える会。
・ヨガなど体を動かすイベント。
・見る、聞くだけでなく、自分が参加できるようなもの。親子で楽しめるもの。
・有名人（俳優さん）のトークショーとか行うと、県外からも人がたくさん来て賑やかになると思います。
・日本のロックバンドのコンサートをしてほしい。
・K-POP のコンサート。
・マジックショー。
・海外映画で、本当に映画館で観られるような映画が観たい。
・アニメはみんなで楽しんで見るから。
・落語は今だからこそやっていくべきだと思う。
・スポーツ選手の演説。
・ユーチューバーに来てもらいたい。
・時代や流行に合わせてほしい。
・近くにライブ会場がないので、好きな歌手とかにも来てほしいし、ライブ会場に行く時も遠いので、交通費がかかるので、どうにかしてほしい。
・ご高齢の方から小さな子どもまで幅広い世代が楽しめるようにしてほしい。
・群馬県の有名人じゃなくてもいいと思います。
・若い人も楽しめる企画を考えてほしい。
・町の人達とのドッジボール大会などの大会。
・一緒に体験できるような企画もよいと思う。
・カレーづくり体験などを通じて幅広い世代での交流を促す。お祖母ちゃんやお母さんが小・中・高校生と一緒に教えながらつくる。小さい子どもを持つお母さん方が集まれば、子育ての悩みを相談できたりするため、若い人もこの企画に参加すると思う。地域活性化にもつながる。
・情報が来ない。市民会館が古い。トイレが汚い。

4　マイナンバーカードについて

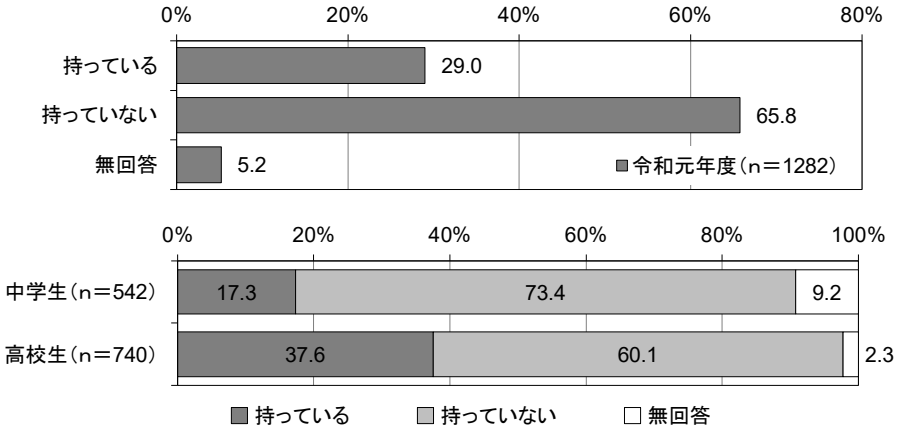
問４　マイナンバーカードの所有状況

あなたは、マイナンバーカードを持っていますか。（１つ選択）

「持っている」（29.0%）が約 3 割、「持っていない」（65.8%）が 6 割以上となっています。

属性別に見ると「持っている」は中学生（17.3%）が約 2 割、高校生（37.6%）が約 4 割となっています。

(参考)渋川市全体のマイナンバーカードの所有率は約 8%です(令和元年 6 月 30 日現在)。

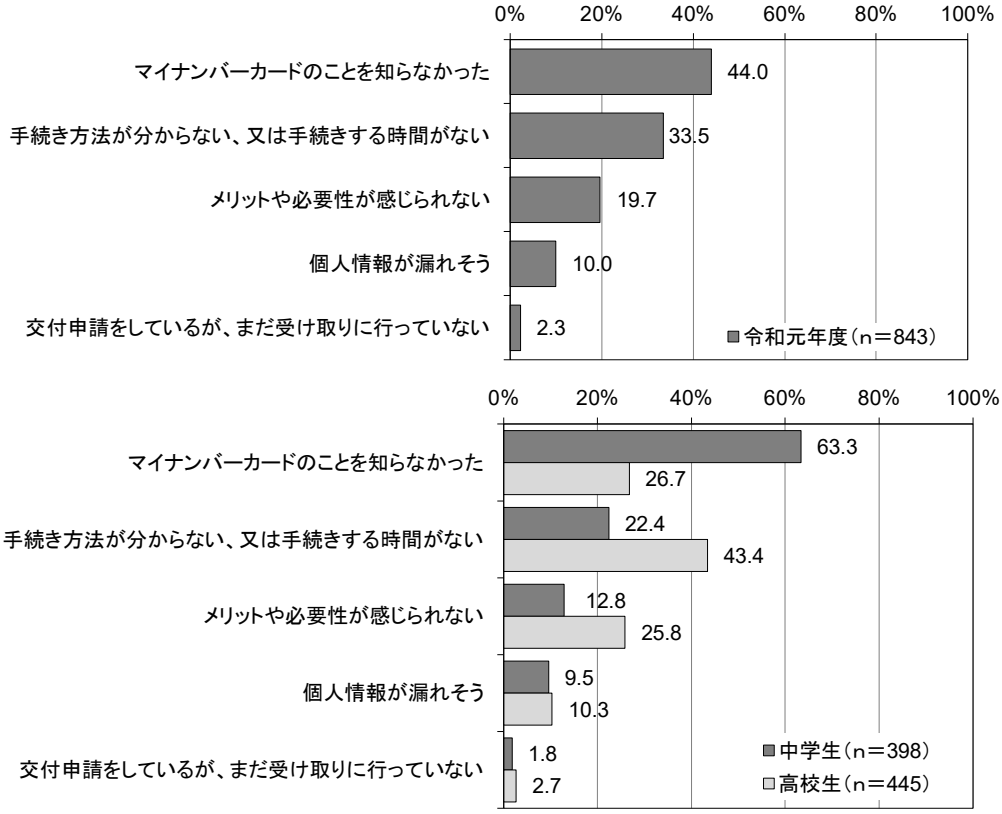


問５　持っていない理由

あなたが、マイナンバーカードを持っていない理由は何ですか。（問 11 で「持っていない」の場合・全て選択）

「マイナンバーカードのことを知らなかった」（44.0%）が 4 割以上で最も高くなっています。次いで「手続き方法が分からない、又は手続きする時間がない」（33.5%）が 3 割以上となっています。

属性別に見ると、中学生は「マイナンバーカードのことを知らなかった」（63.3%）が 6 割以上、高校生は「手続き方法が分からない、又は手続きする時間がない」（43.4%）が 4 割以上でそれぞれ最も高くなっています。

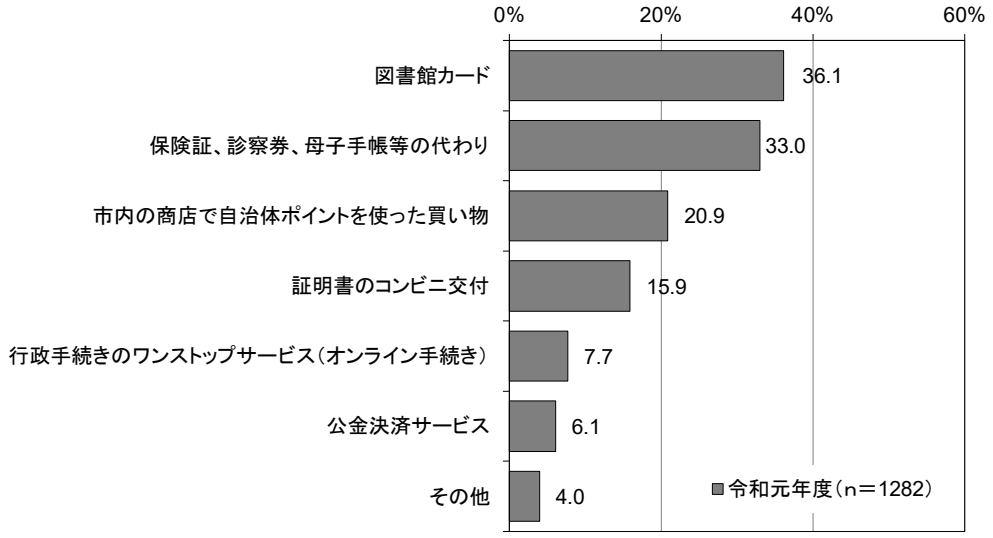


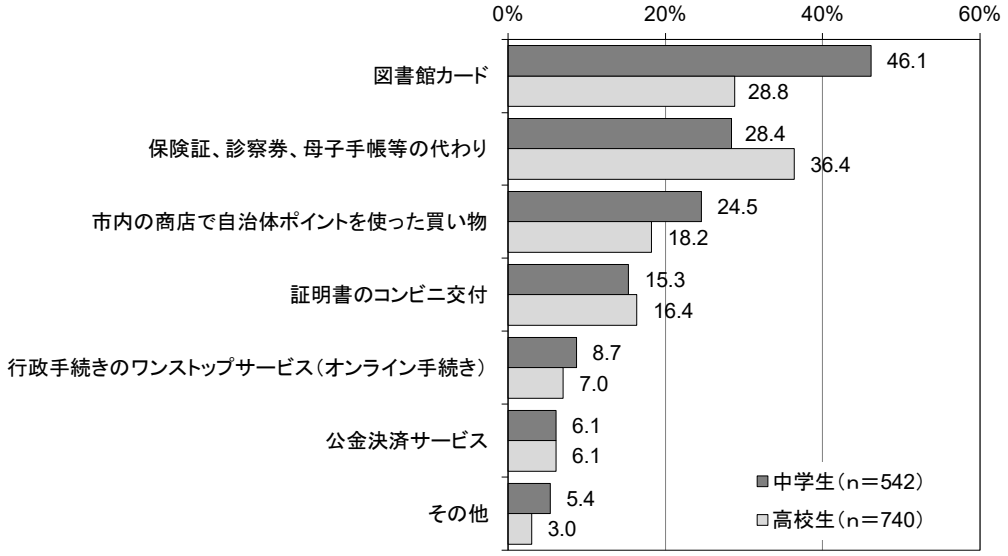
問６　利用してみたいサービス

マイナンバーカードを利用したサービスについて、あなたが、利用してみたいと思うサービスは何ですか。（全て選択）

「図書館カード」（36.1%）が 3 割以上で最も高く、次いで高い「保険証、診察券、母子手帳等の代わり」（33.0%）も 3 割以上となっています。

属性別に見ると、中学生は「図書館カード」（46.1%）が 4 割以上、高校生は「保険証、診察券、母子手帳等の代わり」（36.4%）が 3 割以上で最も高くなっています。





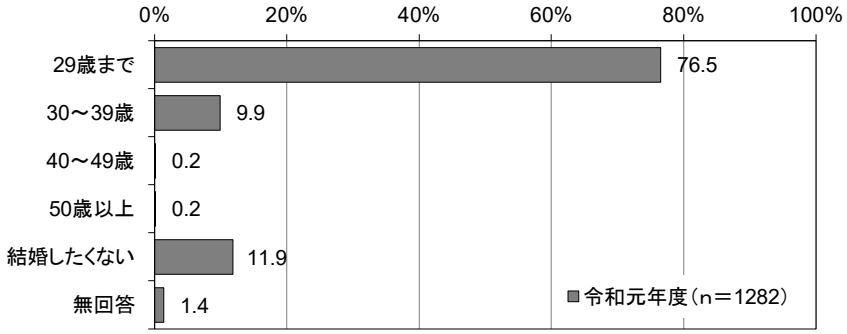
5　結婚・子育てについて

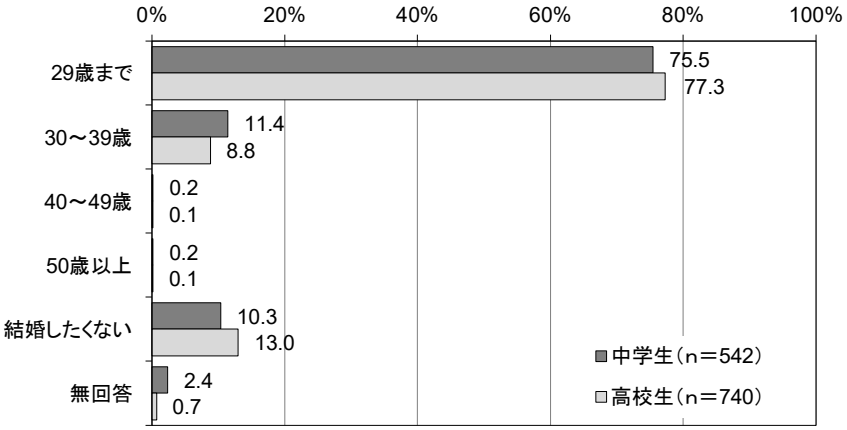
問７　結婚希望年齢

あなたは、将来何歳頃に結婚したいと思いますか。（１つ選択）

「29 歳まで」(76.5%) が約 8 割で特に高くなっています。一方、「結婚したくない」(11.9%) が 1 割以上となっています。

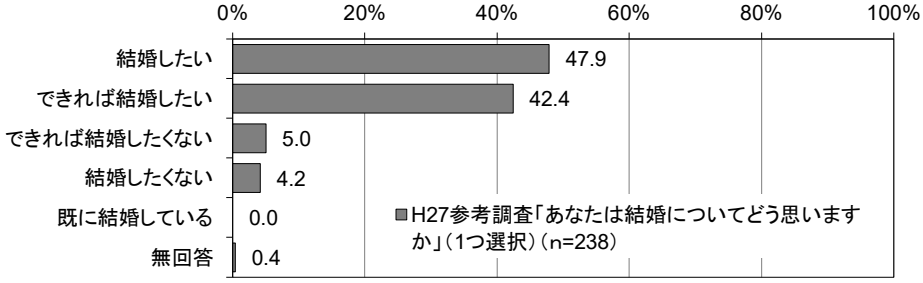
属性別に見ると、中学生、高校生で大きな差は見られません。





【参考　H27 参考調査】

H27 参考調査では、「結婚したい」(47.9%) が約 5 割、「できれば結婚したい」(42.4%) が 4 割以上で、「できれば結婚したくない」「結婚したくない」(それぞれ 5.0%、4.2%) は 1 割未満となっています。「できれば結婚したくない」「結婚したくない」の合計値『結婚したくない』(9.2%) は約 1 割となっています。

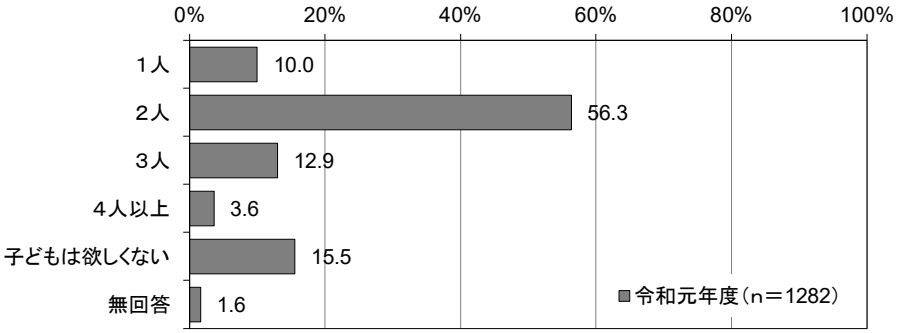


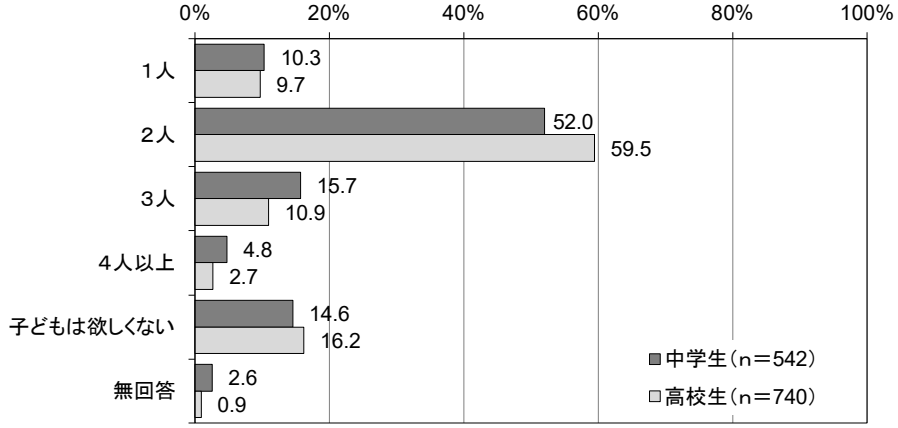
問８　希望子供数

あなたは、将来子どもを何人くらい欲しいと思いますか。（１つ選択）

「２人」(56.3%)が５割以上で特に高くなっています。一方、「子どもは欲しくない」(15.5%)が１割以上となっています。

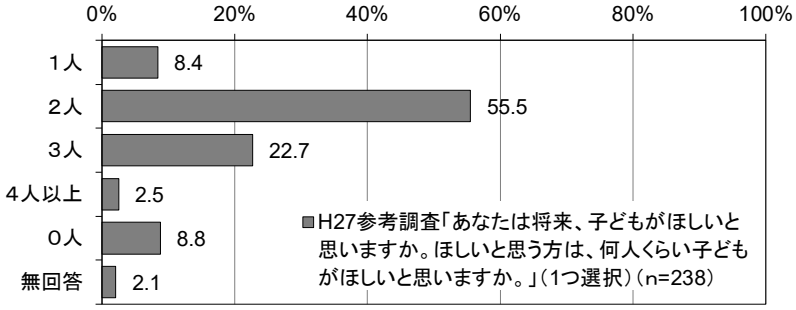
属性別に見ると、中学生、高校生で大きな差は見られませんが、「２人」は中学生（52.0%）が５割以上、高校生（59.5%）が約６割で、高校生が若干高くなっています。





【参考　H27 参考調査】

H27 参考調査では、「2 人」（55.5%）が 5 割以上、「3 人」（22.7%）が 2 割以上となっています。一方、「0 人」（8.8%）は 1 割未満となっています。



6　成年後見制度について

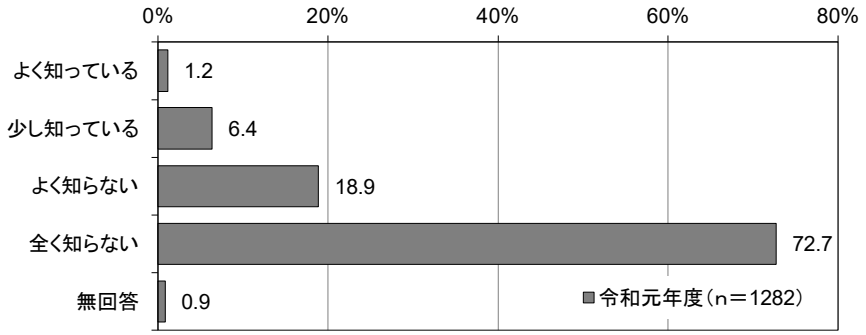
問９　成年後見制度の認知度

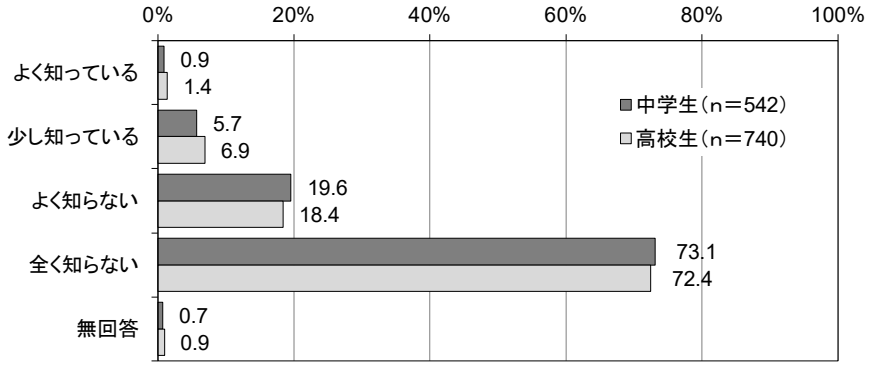
あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。（１つ選択）

「全く知らない」（72.7%）が７割以上で特に高くなっています。

「よく知っている」（1.2%）と「少し知っている」（6.4%）の合計値『知っている』（7.6%）は１割未満、「よく知らない」（18.9%）と「全く知らない」の合計値『知らない』（91.6%）は９割以上となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生で大きな差は見られません。



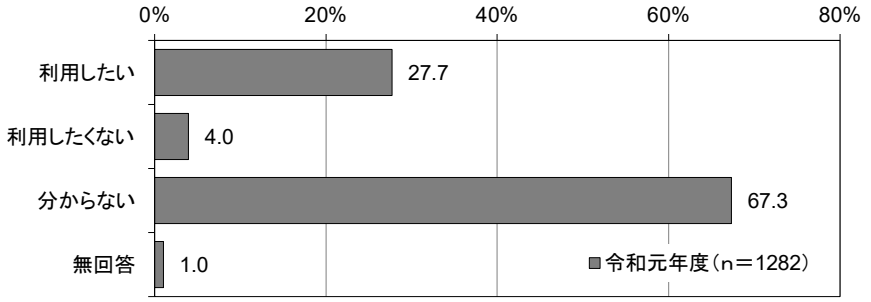


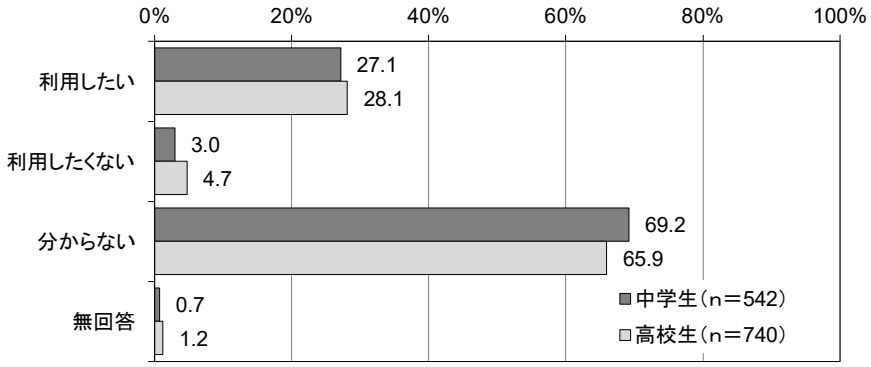
問１０　利用意向

あなたは、あなた自身や親戚が認知症等により判断が十分にできなくなったとき、後見人等を定めて権利や財産を守るための制度「成年後見制度」を利用したいですか。（１つ選択）

「分からない」（67.3%）が約 7 割で特に高く、次いで「利用したい」（27.7%）が約 3 割で、「利用したくない」（4.0%）は 1 割未満となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生で大きな差は見られません。



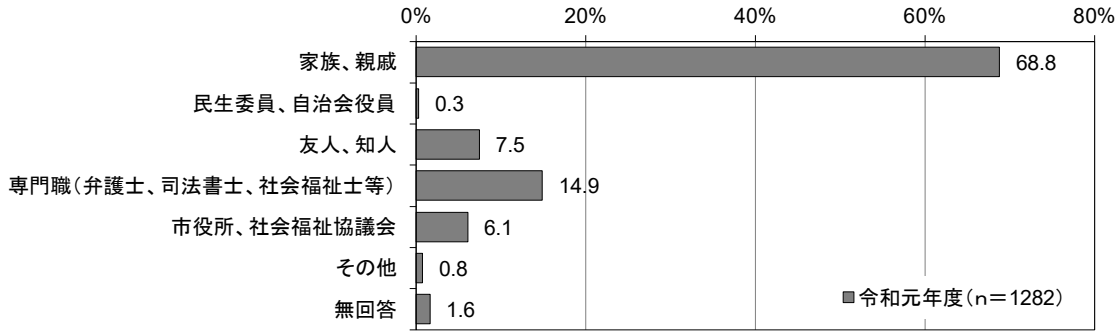


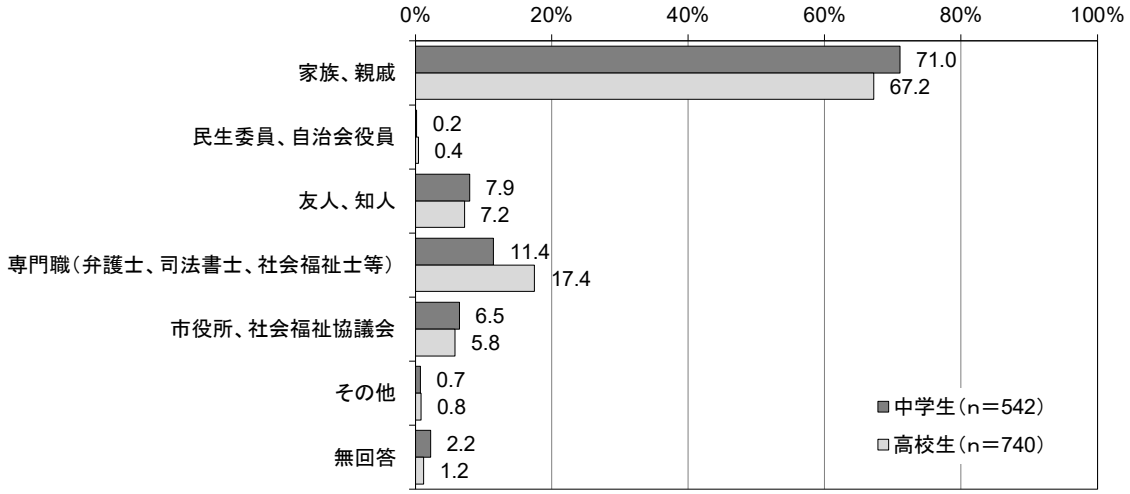
問１１　判断力が低下して不安を感じた時の相談先・相手

あなたが、もし加齢や病気等により判断能力が低下し、預貯金や不動産等の財産の管理、家族の世話、様々なサービスを利用するための契約行為に不安を感じたとき、誰（どこ）に相談しますか。（１つ選択）

「家族、親戚」（68.8%）が約７割で特に高く、次いで「専門職（弁護士、行政書士、社会福祉士等）」（14.9%）が１割以上となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生で大きな差は見られませんが、「専門職（弁護士、行政書士、社会福祉士等）」は中学生（11.4%）が１割以上、高校生（17.4%）が約２割で、高校生が若干高くなっています。





7　読書について

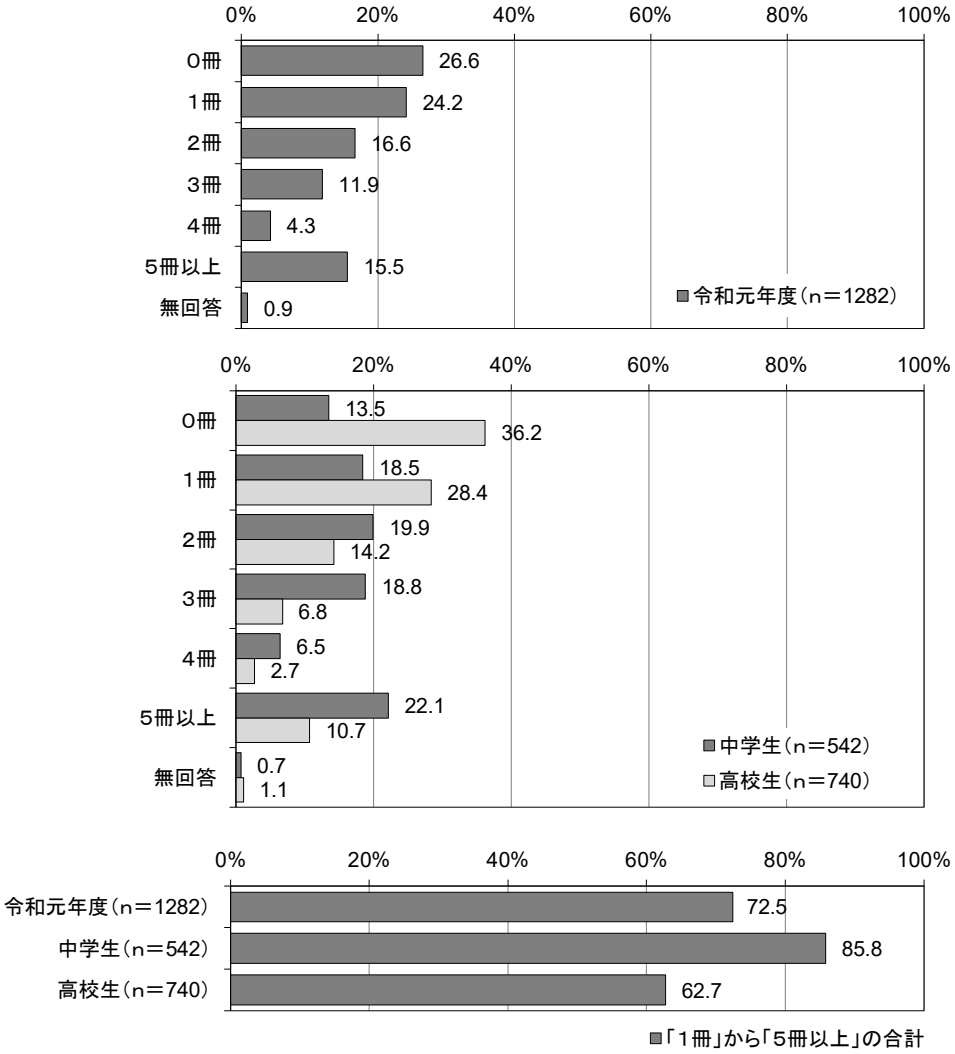
問１２　紙の本の読書冊数

あなたは、先月１か月の間に紙の本を何冊ぐらい読みましたか。図書館や友人などから借りて読んだ本も入れてください（電子書籍・教科書・学習参考書・マンガ・雑誌を除く。)。（１つ選択）

「０冊」（26.6%）が約３割で最も高く、次いで「１冊」（24.2%）が２割以上となっています。

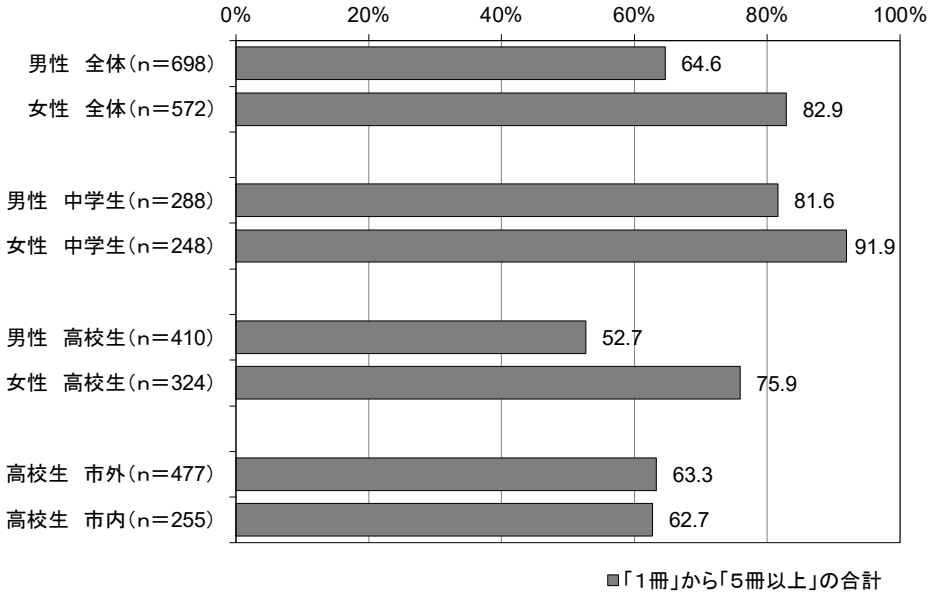
属性別に見ると、中学生は「５冊以上」（22.1%）が 2 割以上、高校生は「０冊」（36.2%）が３割以上で最も高くなっています。

「１冊」から「５冊以上」までの合計値『読んだ』は、全体（72.5%）では７割以上となっています。属性別に見ると、中学生（85.8%）は 8 割以上、高校生（62.7%）は 6 割以上で、差が大きくなっています。



「１冊」から「５冊以上」までの合計値『読んだ』について、中学生と高校生で大きな差がみられる点について、さらに性別で見ると、中学生、高校生とも男性より女性が高く、中学生は男性（81.6%）が８割以上、女性（91.9%）が９割以上、高校生は男性（52.7%）が５割以上、女性（75.9%）が約８割となっており、特に高校生で性別による差が大きくなっています。また、高校生について居住地で見てみると、市外、市内（それぞれ63.3%、62.7%）ともに６割以上で同程度となっており、大きな差は見られません。

これらから、中学生と高校生で見られる差には、特に高校生の男性の読書量が少ないことが影響していると考えられます。



問１３　電子書籍の読書冊数

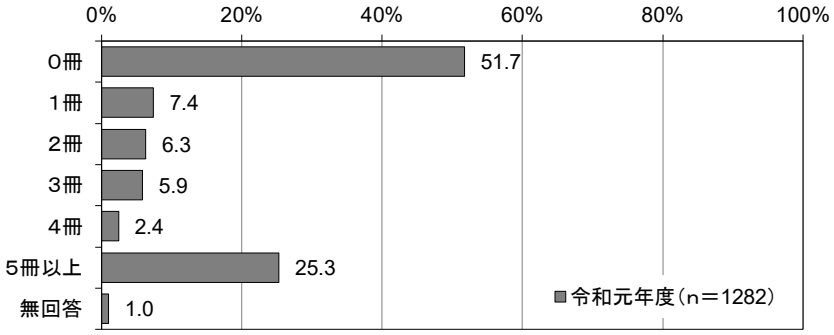
あなたは、先月１か月の間に電子書籍を何冊ぐらい読みましたか。電子図書館で借りて読んだ本も入れてください（マンガ・雑誌を含む。）。（１つ選択）

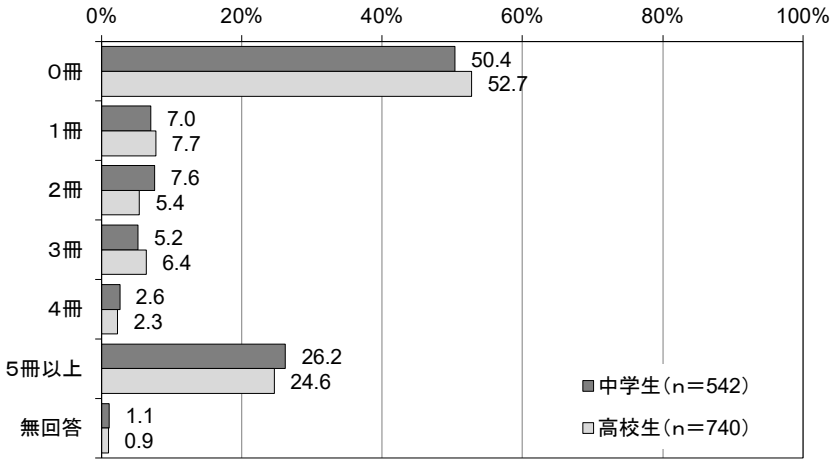
「０冊」（51.7%）が５割以上で最も高く、次いで「５冊以上」（25.3%）が２割以上となっています。

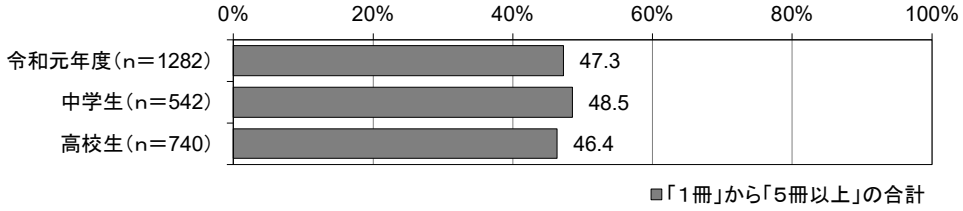
属性別に見ると、中学生、高校生で大きな差は見られません。

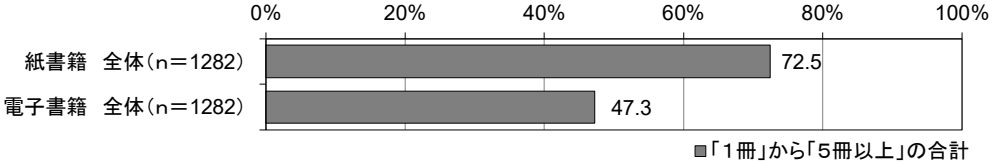
「１冊」から「５冊以上」までの合計値『読んだ』は、全体（47.3%）では約５割となっています。属性別に見ると、中学生、高校生で大きな差は見られません。

「１冊」から「５冊以上」までの合計値『読んだ』について、全体の値を紙書籍と電子書籍で比較すると、紙書籍（72.5%）が７割以上、電子書籍（47.3%）が約５割で、差が大きくなっています。







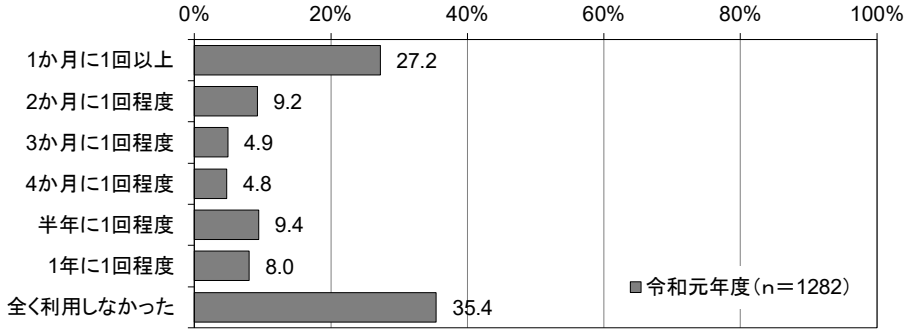


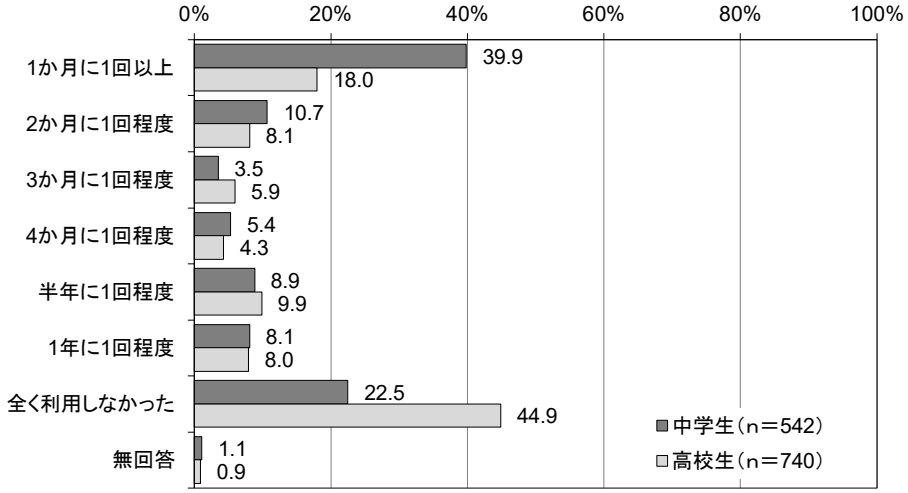
問１４　図書館の利用頻度

あなたは、平成３０年１月から平成３０年１２月までに、どのくらいの頻度で図書館を利用しましたか。（渋川市外の図書館や、学校や公民館にある図書室などを含む。）。（１つ選択）

「全く利用しなかった」(35.4%)が３割以上で最も高く、次いで「１か月に１回以上」(27.2%)が約３割となっています。

属性別に見ると、中学生は「１か月に１回以上」（39.9%）が約４割、高校生は「全く利用しなかった」（44.9%）が４割以上で最も高くなっています。





４　市政について

問１５　住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと

あなたが渋川市の市長になったとしたら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（自由記入）

859 人から意見をいただきました。これを現行の総合計画の 6 分野別に読み分けました。なお、複数の分野にまたがる内容についてはそれぞれの分野に整理、集計し、意見数は全 1,116 件となりました。

各分野に関する主な意見を以下に示します。なお、原則として原文のままとしています。

分野	意見数（件）
1　安全・安心、暮らし分野	162
2　健康、福祉、スポーツ分野	91
3　産業分野	252
4　都市基盤、自然環境分野	362
5　教育、文化分野	81
6　自治、協働、行財政分野	89
7　その他	79
合計	1,116

【１　安全・安心、暮らし分野】

・駅前だけでなく、細い道など人目のつかない所にもたくさん街灯を付けて防犯を強化したい。

・子ども達が安心して登下校できるように街灯の数を増やす。

・犯罪などが起きないようにする。

・交通面での安全。災害時の対策。

・歩いてみてここは危ないなと思った所の対策をする。

・空き家問題解消。

【２　健康、福祉、スポーツ分野】

・子育てと介護がしやすいようにしたい。

・出産、子育てがしやすい環境づくりに努め、地域活性を目指します。同じ世代の子を持つお母さん方の交流や、渋川子育て支援センターの情報発信、公園や施設にオムツを捨てられるゴミ箱の設置など、子育てをしやすい環境を整えることで、若い人も魅力を感じ、移り住みたくなると思います。

・高校生の医療サービスの無料化。

・子どもやお年寄りにやさしいまちをつくる。

・福祉サービスをもっと充実させる。ユニバーサルデザインに力を入れた施設を増やす。

・人工芝のグラウンド。天然芝のグラウンド。

【3　産業分野】

・市外から人を呼ぶための巨大なショッピングモールをつくる。
・渋川に大きなショッピングモール。東京にも負けない大都市にして発展させる。
・高校生でも楽しめる場所を増やしてほしい。映画館がない。
・商業施設の充実化。特産品の PR。
・農業だけにとらわれず工業にも力を入れる。
・大人と学生が交流できる場を持てるようにしたい（会社を見学するなど)。
・高校生が自由に勉強できるすたでぃばんくを中学生用につくる。
・仕事を増やす。

【4　都市基盤、自然環境分野】

・都会っぽさと緑の融合。
・公共交通機関を充実させること。道路や歩道など通学路の整備。
・交通のライフラインを郊外から市街地にかけるまで充実させ、車を使わなくても生活できるようにする。
・道路や交通の整備。電車の本数の増加。
・高齢者が車を持っていなくても快適に過ごせるようなバスやタクシー等の設備整理。
・電車の本数を 1 時間 4～5 本くらいにする。
・誰もが嫌な思いをせず快適に利用できる公共交通機関を心がけていきたい。
・公園や遊園地、動物園などの親子で楽しく遊べるところをつくる。
・あまり建物を自然を壊してするのはだめだから、木々や自然あふれる市にしたい。
・ごみ捨て場でいつもカラスが生ごみを食べているので、そこを徹底したい。ごみ捨て場の充実化に力を入れる。
・環境問題。例えばごみを拾う。呼びかける。ポスターなどをつくる。

【5　教育、文化分野】

・自習スペース。
・小学生、中学生、高校生が自由に使える自習室を多くつくる。
・教育に力を入れたい。渋川市の高校に通い大学に進学する人の奨学金制度など。
・高校生のバイク通学を認める。
・学校教育の改善、次世代の子ども達への正しいありのままの教育。
・いじめや虐待等をなくす。
・勉強の環境を充実させて、より質の良い授業を受けられるようにする。
・学校の設備をもっと良くする。全員がタブレットを使えるようにする。PC が足りない所は増やしてあげる。
・渋川市の文化や歴史を他県の人々に伝えられるようにしたい。
・伝統文化の保護等、子どもがより参加しやすいように。

【6　自治、協働、行財政分野】

・地方を再生することは難しいので、まちおこしに力を入れるのではなく、地方自治体として最低限の役割を果たせるようにする。

・市民の声を聞いてできるだけのことを反映する。

・自治会長さんなどを集めて自分の地域で困っていることがないか聞く会を設ける。

・いろいろな制度を分かりやすくすること（活用してもらうために）。

・誰でも意見が言える環境づくり。

・月一で地域住民参加型の会議を開く。

・市民にどこを直してほしいか、改善してほしい所はどこかを聞いて、できる限りやったり、お金が足りなかったら市民から募金してもらい資金を得る。

・みんなで協力や助け合って生活をする。

・地域が豊かになるためにまずは地域のみんなでの活動を増やしたい。そして一人ひとりが当事者意識を持てるようにすること。

・市民全員にアンケートをとって、取り入れるものがあったらより良くしていく。

・市役所で働いている人が楽しく仕事ができるようにしたい。なぜなら、職場が楽しくなければより良い渋川市は絶対につくれないと思うから。

・皆にアンケートをとって満足度や重要度に応じて力を入れていく。

・ボランティア活動をしたい。

【7　その他】

・一年渋川市に通って、自分の住んでいるところより少子高齢化が進んでいると思ったことが何度もあります。若い人の人口を増やすためにどうしたらよいのか考えると思います。

・人が不自由なく暮らせるようなまちづくり。

・子どもが楽しいと思えるようなまちをつくりたい。

・たとえ市にお金がなくても（嫌みではないです。もしもです。）、市民全員が事故なく、収入もしっかり、幸せに暮らせるために一生懸命考えます。

・あいさつ運動など。

・今のままでいい。

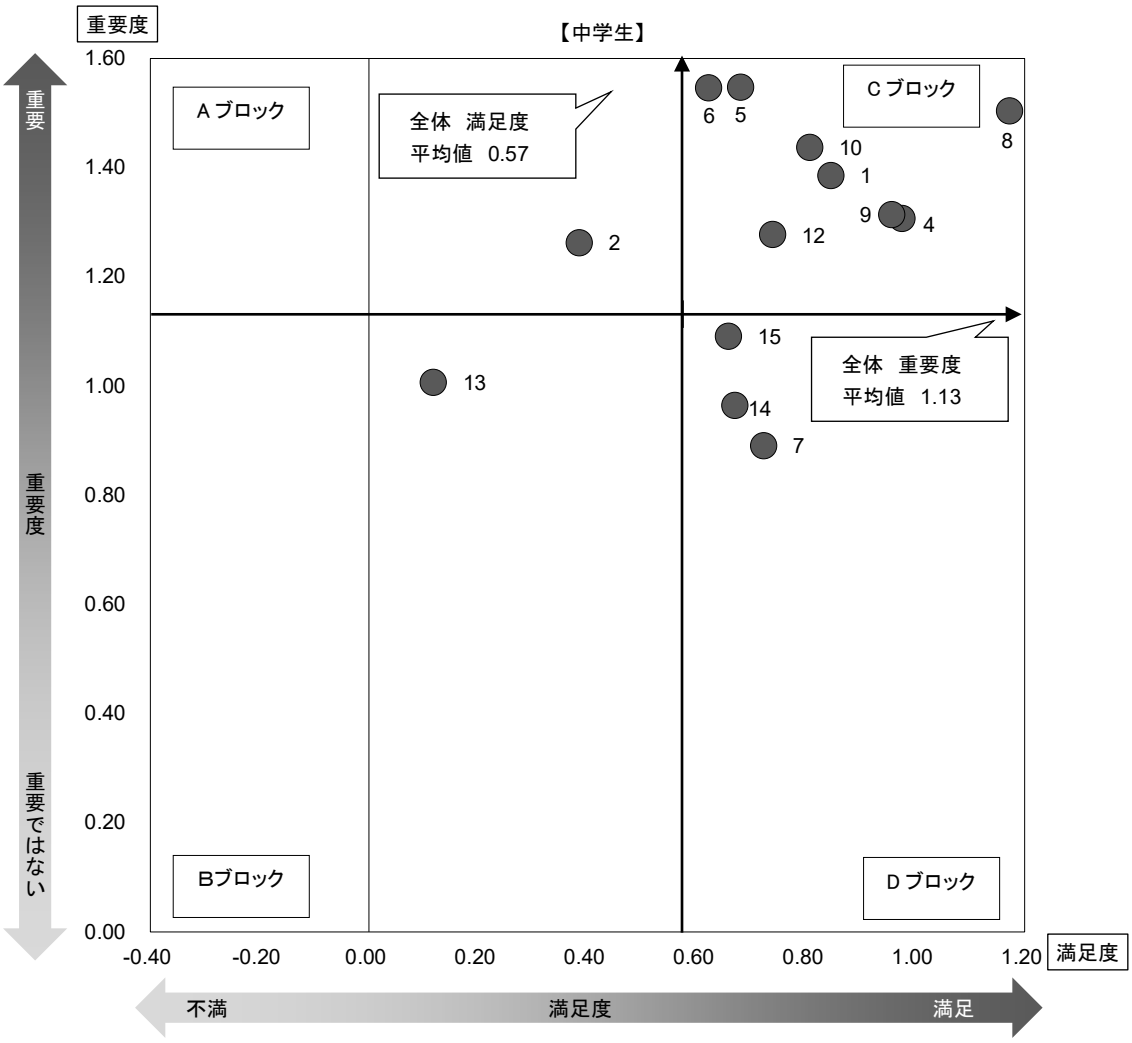
・今のままで充実しているから変えずにこのまま。

・特にありません。

・市長になりたいと思わないので分かりません。

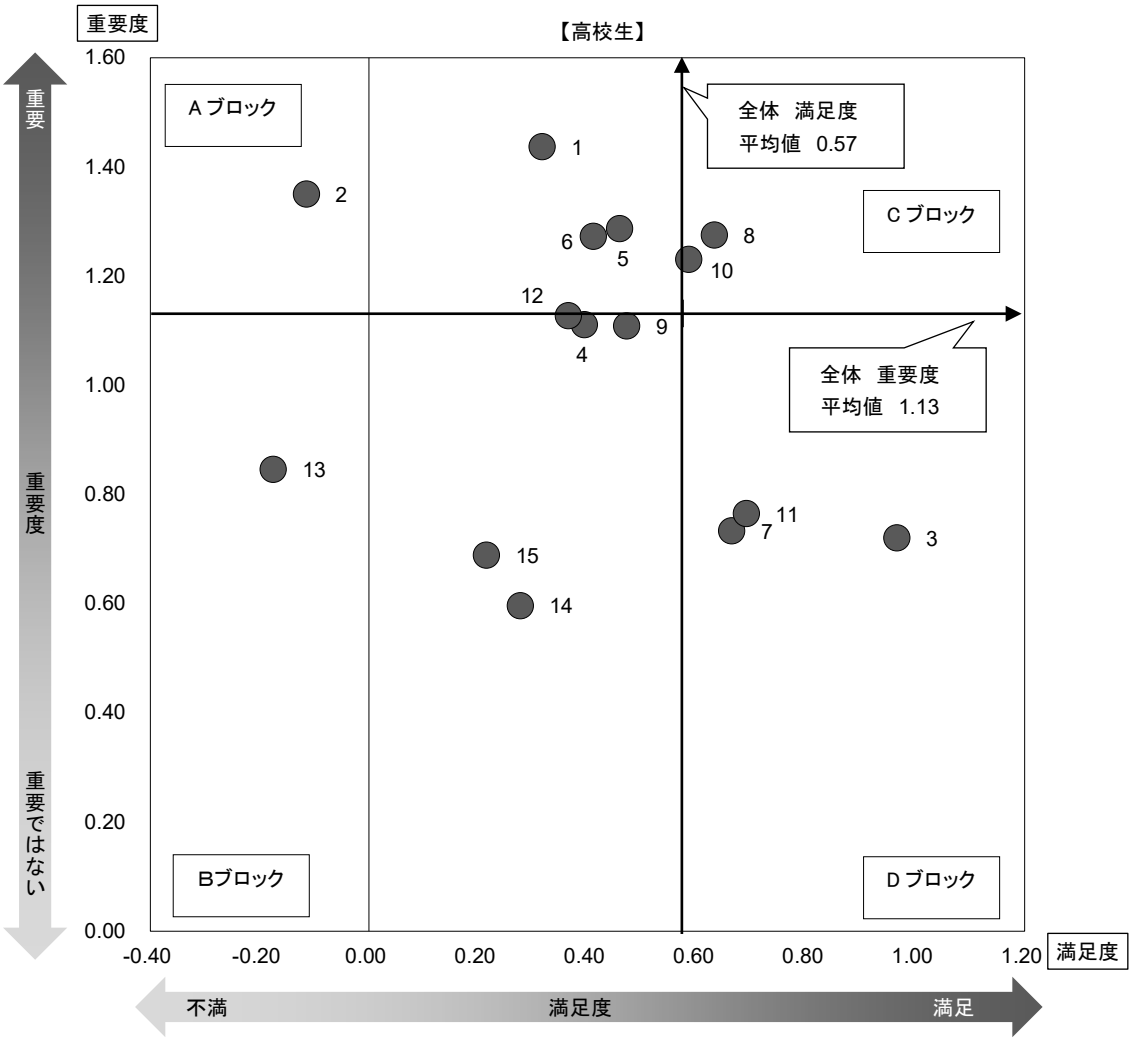
資料

中学生・高校生別満足度・重要度（加重平均値）



中学生	満足度平均値　0.80	重要度平均値　1.26

1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる
2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している
3 森林や河川などの自然環境が豊かである
4 市街地が整備され、快適に暮らせる
5 災害などに備える防災機能が整備されている
6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている
7 身近な公園や広場が整備されている
8 病院・診療所などの医療サービスが充実している
9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している
10 学校の教育や施設が充実している
11 地域の祭など伝統文化が豊かである
12 日々の買い物が便利である
13 観光地やレジャー施設が充実している
14 地域のボランティア団体などが充実している
15 市からの情報が充実している



高校生	満足度平均値 0.41	重要度平均値 1.04

1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる
2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している
3 森林や河川などの自然環境が豊かである
4 市街地が整備され、快適に暮らせる
5 災害などに備える防災機能が整備されている
6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている
7 身近な公園や広場が整備されている
8 病院・診療所などの医療サービスが充実している
9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している
10 学校の教育や施設が充実している
11 地域の祭など伝統文化が豊かである
12 日々の買い物が便利である
13 観光地やレジャー施設が充実している
14 地域のボランティア団体などが充実している
15 市からの情報が充実している

調査票

令和元年度 中学生･高校生意識調査

中学生・高校生意識調査ご協力のお願い

皆さん、こんにちは。

市では、皆さんが住みやすいまちを目指し、様々な取組を行っています。

そこで、将来のまちづくりの主役となる中学生及び高校生の皆さんに、まちづくりについての意見や希望をお伺いし、これからのまちづくりにいかすため、調査を実施します。

なお、本調査の結果につきましては、ホームページ等で公表する予定です。

皆さんが普段考えていることをお答えください。よろしくお願いいたします。

令和元年５月

渋川市長　　髙　木　　勉

ご記入に当たって

１　ご本人がご回答ください。

２　質問ごとに「３つまで選んで○」「あてはまるもの全てに○」など、選び方が指定されていますので、あてはまる選択肢の番号を○印で囲んでください。

３　「その他」を選んだ場合は、（　）の中に具体的な内容を記入してください。

４　ご回答いただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありません。また、ご回答いただいた内容は統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた方が特定されることはありません。

（お問合せ先）
渋川市　総合政策部　新政策課　総合政策係
電話：０２７９－２２－２４０１（直通）　　FAX：０２７９－２４－６５４１
E-mail：hp-shinseisaku@city.shibukawa.gunma.jp

あなたご自身のことについてお伺いします。

【1】あなたの性別は、どちらですか。**1つ選んで**○をつけてください。

1. 男	2. 女

【2】あなたは、中学生ですか、高校生ですか。**1つ選んで**○をつけてください。

1. 中学生	2. 高校生

【3】あなたのお住まいは、どちらですか。**1つ選んで**○をつけてください。

1. 渋川地区	2. 伊香保地区
3. 小野上地区	4. 子持地区
5. 赤城地区	6. 北橘地区
7. その他〔　　市・町・村〕	

【4】前問【3】で、1～6を選んだ方にお伺いします。あなたは、渋川市に住んで何年になりますか。**1つ選んで**○をつけてください。なお、転居されたことのある方は、通算の年数でお答えください。

1. 3年未満	2. 3年以上5年未満
3. 5年以上10 年未満	4. 10年以上

【5】あなたは、将来渋川市に住みたいと思いますか。**1つ選んで**○をつけてください。
（渋川市外にお住まいの方もお答えください。）

1. 渋川市内に住み続けたい	2. 一度、渋川市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい
3. 渋川市外に移りたい	4. 渋川市内に移り住みたい
5. 渋川市内に移り住みたくない	6. わからない

市の現状の評価についてお伺いします。

【問１】 あなたは、身近な生活環境について、どのように感じていますか。次の１～１５の各項目について、「満足度」欄及び「重要度」欄の５段階評価の中から、<u>１つずつ選んで</u>○をつけてください。

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらとも言えない	どちらかと言えば重要でない	重要でない
（例）	道路・歩道が整備され、安全に利用できる	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1	道路・歩道が整備され、安全に利用できる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2	鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3	森林や河川などの自然環境が豊かである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4	市街地が整備され、快適に暮らせる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5	災害などに備える防災機能が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6	安心して暮らせる防犯体制が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7	身近な公園や広場が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8	病院・診療所などの医療サービスが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9	子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
１０	学校の教育や施設が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
１１	地域の祭など伝統文化が豊かである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
１２	日々の買い物が便利である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
１３	観光地やレジャー施設が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
１４	地域のボランティア団体などが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
１５	市からの情報が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

市民会館についてお伺いします。

【問２】市民会館では様々な文化教養事業を企画しています。あなたが、行ってみたいと思う市民会館の事業は何ですか。<u>３つまで選んで</u>○をつけてください。

1.　クラシックのコンサート	2.　演歌のコンサート
3.　J-POP やロックのコンサート	4.　子ども向けのショー
5.　歌舞伎・能等古典芸能	6.　落語
7.　お笑い	8.　有名人のトークショー
9.　日本映画の鑑賞会	10.　海外映画の鑑賞会
11.　アニメの鑑賞会	

【問３】市民会館の文化教養事業の企画について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

マイナンバーカードについてお伺いします。

【問４】あなたは、マイナンバーカードを持っていますか。<u>１つ選んで</u>○をつけてください。

【おもて面】　【うら面】

1.　持っている	2.　持っていない

【問５】前問【問４】で「２　持っていない」を選んだ人にお伺いします。
あなたが、マイナンバーカードを持っていない理由は何ですか。<u>あてはまるもの全てに</u>○をつけてください。

1.　メリットや必要性が感じられない	2.　手続き方法が分からない、または手続きをする時間がない
3.　個人情報が漏れそう	4.　マイナンバーカードのことを知らなかった
5.　交付申請をしているが、まだ受け取りに行っていない	

【問６】マイナンバーカードを利用したサービスについてお伺いします。
あなたが、利用してみたいと思うサービスは何ですか。**あてはまるもの全てに**○をつけてください。

1.	証明書のコンビニ交付	2.	行政手続きのワンストップサービス（オンライン手続き）
3.	保険証、診察券、母子手帳等の代わり	4.	図書館カード
5.	市内の商店で自治体ポイントを使った買い物	6.	公金決済サービス
7.	その他（　　）		

結婚・子育てについてお伺いします。

【問７】あなたは、将来何歳頃に結婚したいと思いますか。**１つ選んで**○をつけてください。

1.	２９歳まで	2.	３０～３９歳
3.	４０～４９歳	4.	５０歳以上
5.	結婚したくない		

【問８】あなたは、将来子どもを何人くらい欲しいと思いますか。**１つ選んで**○をつけてください。

1.	１人	2.	２人
3.	３人	4.	４人以上
5.	子どもは欲しくない		

成年後見制度についてお伺いします。

【問９】あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。**１つ選んで**○をつけてください。

1.	よく知っている	2.	少し知っている
3.	よく知らない	4.	全く知らない

【問１０】あなたは、あなた自身や親戚が認知症等により判断が十分にできなくなったとき、後見人等を定めて権利や財産を守るための制度「成年後見制度」を利用したいですか。**１つ選んで**○をつけてください。

1.	利用したい	2.	利用したくない
3.	分からない		

【問１１】あなたが、もし加齢や病気等により判断能力が低下し、預貯金や不動産等の財産の管理、家族の世話、様々なサービスを利用するための契約行為に不安を感じたとき、誰（どこ）に相談しますか。**１つ選んで**○をつけてください。

1.	家族、親戚	2.	民生委員、自治会役員
3.	友人、知人	4.	専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士等）
5.	市役所、社会福祉協議会	6.	その他（　　）

読書についてお伺いします。

【問１２】あなたは、先月１か月の間に**紙の本**を何冊ぐらい読みましたか。図書館や友人等から借りて読んだ本も入れてください（電子書籍・教科書・学習参考書・マンガ・雑誌を除く。）。**１つ選んで**○をつけてください。

1.	０冊	2.	１冊
3.	２冊	4.	３冊
5.	４冊	6.	５冊以上

【問１３】あなたは、先月１か月の間に**電子書籍**を何冊ぐらい読みましたか。電子図書館で借りて読んだ本も入れてください（マンガ・雑誌を含む。）。**１つ選んで**○をつけてください。

1.	０冊	2.	１冊
3.	２冊	4.	３冊
5.	４冊	6.	５冊以上

【問１４】あなたは、平成３０年１月から平成３０年１２月までに、どのくらいの頻度で図書館を利用しましたか。（渋川市外の図書館や、学校や公民館にある図書室等を含む。）。**１つ選んで**○をつけてください。

1.	１か月に１回以上	2.	２か月に１回程度
3.	３か月に１回程度	4.	４か月に１回程度
5.	半年に１回程度	6.	１年に１回程度
7.	全く利用しなかった		

市政についてお伺いします。

【問１５】あなたが渋川市の市長になったとしたら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（ご自由にお書きください。）

ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は、先生へ提出してください。